

人権に関する市民意識調査
男女共同参画に関する市民意識調査
人権・男女共同参画に関する企業意識調査
自由回答報告書

太 田 市
2021年10月

目次

I	人権に関する市民意識調査.....	1
1.	人権全般に対する意識について（問1・3・4・5・6）	1
2.	人権の各分野について.....	4
	女性の人権（問7・8）	4
	子どもの人権（問9・10）	5
	高齢者の人権（問11・12）	6
	障がいのある人たちの人権（問13・14）	7
	同和問題（問16・17）	7
	外国籍の人たちの人権（問18・19）	9
	HIV感染者・ハンセン病患者等の人権（問20・21）	10
	犯罪被害者等の人権（問22・23）	11
	インターネットによる人権侵害（問24・25）	12
	性的指向・性自認（問26・27・28）	13
3.	太田市の人権に関する取組について（問29～33）	14
4.	回答者の属性（問36）	27
II	男女共同参画に関する市民意識調査.....	28
1.	男女平等について（問3）	28
2.	男女の仕事と生活への関わり方について（問5・6）	29
3.	就労について（問10・13・14・16）	30
4.	地域での男女共同参画について（問17）	35
5.	女性に対する暴力の防止・被害者支援について（問19・20・23） ...	36
6.	男女共同参画社会の形成について（問24・25）	37
7.	回答者の属性（問28）	46

Ⅲ 人権・男女共同参画に関する企業意識調査.....	47
1. 回答企業の属性（問1・5・6）	47
2. 人権問題への取組について（問8～12）	48
3. 障がい者雇用について（問13・14・15）	50
4. 性的マイノリティに関する取組について（問19・21）	51
5. 行政の人権問題への取組について（問22・23）	51
6. 女性労働者の就労状況について（問25・26）	53
7. セクシュアル・ハラスメントに対する取組状況について（問27）	54
8. 育児・介護両立支援について（問34・35）	55
9. 女性活躍推進法について（問36・37・38）	56
10. 男女共同参画の取組について（問39）	57

本報告書では、皆様からいただいた貴重な意見をできる限り掲載させていただきました。
しかしながら、特定の個人が識別され得る意見、または事実を確認することが困難な内容等につきましては掲載しておりません。
掲載は、ほぼ原文のままとさせていただいております。
市のことを考え、ご意見をいただき誠にありがとうございました。

I 人権に関する市民意識調査

1. 人権全般に対する意識について（問1・3・4・5・6）

問1 関心のある人権問題

特にどの人権問題に関心がありますか。（「その他」の内容）

- ・（障がいのある人）支援者に悪用されている
- ・ LGBT（2件）
- ・ 意識したことがない
- ・ 結婚しない・できない男女
- ・ コロナにかかった人
- ・ コロナ感染者（2件）
- ・ コロナ関係
- ・ ジェンダーフリーについて
- ・ 自分の周りの人
- ・ 男女平等
- ・ 中国の人権問題
- ・ 非正規職員
- ・ 関心はないがニュースを見たときにおどろく
- ・ 金持ち、貧乏人
- ・ 芸能人
- ・ 児童養護施設に入所している子ども達
- ・ 職場におけるパワーハラスメント
- ・ 職場におけるパワハラ等全般
- ・ 人権問題を問題にしていることが問題。動物
- ・ 人種差別
- ・ 生きている（生かされている）ものすべて
- ・ 生活している人全員
- ・ 生活保護
- ・ 全般
- ・ 男性
- ・ 男性・同性愛
- ・ 中国国内の人権問題
- ・ 都会と地方の温度差
- ・ 同性愛
- ・ 特にあるわけではなく聞かれれば考えたい
- ・ 犯罪加害者とその家族（2件）
- ・ 犯罪者
- ・ 話題になった事柄

問3 「人権が尊重されている社会」と思わない理由

問2で「いちがいに言えない」「そう思わない」と答えた理由は、次のうちどれですか。（「その他」の内容）

- ・ インターネット（主にSNS）
- ・ インターネット上で匿名での悪口
- ・ 冤罪を冤罪者が晴らす公の場がない。冤罪者が出るのは刑事事件の取り調べの可視化が遅れているためだと思われる
- ・ これといったルール化がない
- ・ ニュースによるインタビューで知った
- ・ ニュースによる情報
- ・ パワハラ（2件）
- ・ メディアでの執拗な芸能人への酷評や報道
- ・ 幼稚園と保育所の法的格差
- ・ 移民問題とそれに伴う犯罪他
- ・ 外国人は、日本が好きで働きたいと思っても働けない
- ・ 関心がない
- ・ 国外に拉致された国民の人権が回復できていない
- ・ 子を持つ母は正社員になることがむずかしい
- ・ 自分が直接受けた事はあまりないが社会的にはそうした人がいる
- ・ 自分に問題があるのに何でも、人のせいにする
- ・ 自分の体験ではなく、ニュースなど見ると全てあてはまると思う
- ・ 自分自身の事ではなく世間一般の事について
- ・ 社会全般やマスコミがちよっとした事でも許さなくなったように思う。個人的にされたことはないがテレビをみて感じる
- ・ 女性差別
- ・ 女性専用はあるのに男性専用が無い。トイレ、電車
- ・ 職業よっての差別あり

- ・ 職場における不当な扱い
- ・ 制度としては尊重されていても現場（個人）ではなくなる
- ・ 問1の1～16までの人権問題
- ・ 隣組の上下関係、後から引っ越してきた者を下に見る

問4 差別を受けた経験

あなたは差別をされたと思ったことがありますか。（「その他」の内容）

- ・ 出産して育休をもらう時
- ・ あったと思うけど何でかは忘れた
- ・ 思い出せない
- ・ 寡婦
- ・ されたのかもしれないが思ったことはない
- ・ 他県より越してきて言葉の違い
- ・ 地域コミュニティへの入りにくさ
- ・ 仲間はずれ
- ・ 難民
- ・ パワハラ
- ・ わからないです
- ・ 引越して来た者に対する上から目線
- ・ 居住地域
- ・ 血液型
- ・ 今は無いが過去にいろいろあったと思う
- ・ 差別とまではいかないが、けなされた（ケチをつけられた）事はある（選択肢1～15まで）
- ・ 仕事ができるためハラスメントを受けた
- ・ 自分自身
- ・ 住んでいる地域
- ・ 女性の職場内での扱い
- ・ 小・中学校の先生
- ・ 障がい者の親だから
- ・ 職場での女性蔑視
- ・ 職場での地位
- ・ 職場で正規雇用か非正規雇用かで
- ・ 職務上の立場で、不平等な扱いを受けた
- ・ 正社員とパートの差
- ・ 地方出身のためいじめられた
- ・ 妬み

問5 人権を侵害された場合の最初の相談先

もし、差別されたり、人権を侵害された場合、最初にどこに相談しますか。（「その他」の内容）

- ・ インターネット
- ・ された内容による
- ・ しない（2件）
- ・ 自分で解決する
- ・ 意識しない、無視
- ・ 家族
- ・ 言えないと思う
- ・ 自分の心の中で処理する
- ・ 戦う
- ・ 相談しない（3件）
- ・ 相談しない、ガマンする
- ・ 相談しようと考えた事がない
- ・ 相談する場所がわからない
- ・ 相談はしていない
- ・ 相談窓口
- ・ 耐えた
- ・ 誰にも相談しない
- ・ 通院先の医師
- ・ 年齢なのであきらめる
- ・ 冷める時期を待つ。公的なところには相談することは少ない

問6 差別をした経験

あなたは他人を差別したことがありますか。(「その他」の内容)

- ・ あると思うが、具体的に何だったか覚えていない
- ・ 意識せずに行っていることはあると思う
- ・ 意識はしていないが差別しているかもしれない
- ・ うわさ話にふりまわされる
- ・ 思い当たらない
- ・ 汚い
- ・ 心のどこかで思うことはある
- ・ していたか分からない
- ・ しているつもりはありませんが、ないともいえない気がします
- ・ 性格上の問題、清潔感
- ・ 生活保護
- ・ そばにいかない
- ・ 直接にはないが、日本に来ている外国人に対して気持ちの面で偏見を持っている
- ・ 強い人に指示され、差別をしたことがある
- ・ 身だしなみ
- ・ よく覚えていない
- ・ わからない
- ・ わからない。相手がどう感じたか次第
- ・ 噂話などはした事があるが直接、その人々に差別をした事はない
- ・ 危害がない限り差別しようと思わない
- ・ 気がつかないうちにしていたかもしれない
- ・ 気持ちとして、日本人以外を差別しているかも
- ・ 血液型
- ・ 個人的な感情、生理的に受けつけない高飛車な人
- ・ 合理的でない言動、排他的な行為の目立つ人々を無視し続けた
- ・ 差別しないよう努めている
- ・ 差別ととらえられたことはあるかもしれない
- ・ 仕事をしない、休みがち、うそをつく人
- ・ 自覚がない
- ・ 自分では気づかないだけかも
- ・ 宗教の勧誘の方
- ・ 心の中では差別的な事は思ってしまったと感じる
- ・ 心の中で思った事はありますが口外は無
- ・ 人に危害を加える悪人
- ・ 成績(学力)
- ・ 他にもあると思うが、わからない

2. 人権の各分野について

女性の人権（問7・8）

問7 女性の人権で問題と思うこと

女性に関することで、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。
（「その他」の内容）

- ・ 男性・女性の差別をなくしてほしい
- ・ 人権を尊重するあまり、女性を優遇すること
- ・ 義務教育+高等教育(女子の意見が通らないことが多い)
- ・ 逆に女性であることで優遇されることが多い
- ・ 家庭内で女性の負担が多すぎる
- ・ 男性が、自分はそういうことは絶対にしていないと思こんでいること
- ・ 成長する過程でのすりこみ
- ・ 男が家事や子育てを女性同等に担う社会になっていないこと
- ・ 女性は、男性以上に待遇が良いと思う。都合が悪くなると、差別とか言っていると思う
- ・ まわりにはないと思います
- ・ あらゆる場面での男尊女卑
- ・ 男尊女卑的風潮、長男信奉
- ・ 主人(男の人)と一緒にの時といない時で相手の態度が変わる

問8 女性の人権を守るために必要なこと

女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ 差別と区別は違うと思う。差別というなら男女を分けることをやめればよい
- ・ 子どもの頃から女性もたくましく、自分の意見を話すことをよしとする、あたり前とする教育をする
- ・ 女性だけではなく男性も不利益を被る事が増えていると思うので、「女性が」よりも「性を問わず」相談できる機会があると良いと思う
- ・ 日本人女子女性自身の「気づき」や海外女子女性(平均)との比較と意識改革
- ・ 男性の人権も大切
- ・ 社会保障
- ・ 女性は嫌がらせを受けたら誰かに相談すべきという考え方。平等だけでなく公平についても考えたい
- ・ 男女平等の表現が不適切、性別平等とか
- ・ 海外ではDVをしたら、受けた側の保護ではなくした方の更生を施設でやるそう。そういう方が良いと思う。DVは病気
- ・ 男女平等を女性有位と誤認している人が多すぎるので、まずは正しい意識改革が必要
- ・ 男性の理解
- ・ どこまでが必要かわからない
- ・ 私のまわりは女性の方が強くなっていると感じます
- ・ 女性だから〇〇等のそもそもの部分
- ・ 女性の身体面の理解、男性自身の差別意識の改善
- ・ 社会上層部に属する人たちの意識改革
- ・ 差別でなく区別教育、ある程度の区別はどこにも必要です
- ・ 男性は男性、女性は女性、相互理解を

子どもの人権（問9・10）

問9 子どもの人権で問題と思うこと

子どもに関することで、特に人権上問題があると思われるのは、どのようなことですか。
（「その他」の内容）

- ・ 幼稚園児と保育所児の法的な格差・差別
- ・ 教師、支援者より悪用や嫌がらせ
- ・ 食から子どもがおかしくなっている
- ・ 子どもが辛いと思えばすべて人権侵害だと思う
- ・ いじめという言葉がなくした方がいいのでは、犯罪かどうか考えさせたい
- ・ 先生がいじめを無視すること→おもしろがって
- ・ いじめっ子につくこと
- ・ いじめという言葉自体が良くない。犯罪です
- ・ まわりにはないと思います
- ・ いじめをさせないルール化
- ・ （設問文の）「特に」が分からない
- ・ 先生が子どもの個性を否定する

問10 子どもの人権を守るために必要なこと

子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ いじめた子への指導強化
- ・ インターネット、SNSの取り締まり強化
- ・ 大人の資質や能力を高める
- ・ 親自身の意識を変える
- ・ 自分自身が同じことをされたらどんな気持ちかを教える
- ・ 地域で子どもを育てる意識をもっていくこと（地域で見守る）
- ・ モラルの指導
- ・ 学校と家庭が連携して子どもに対して人権について日常的に教えていくこと
- ・ 学校教育内容の改革
- ・ 甘やかされた子どもが多すぎ、努力忍耐力を鍛えさせた方が良くと思う
- ・ 強制ではなく自発的な近所同士の声のかけ合い（米国）。どなり声が聞こえると近所の人が、チャイムで What's happening? と声をかける。Are you OK? など
- ・ 警察との連携強化
- ・ 子が助けを求めやすくするための人と場をもっと増やすべき
- ・ 子どもに関わる人が心や経済的余裕をもって接することができるような支援・環境社会的整備
- ・ 子どもの貧困に対する支援、援助
- ・ 児童の早期保護
- ・ 取締り
- ・ 食事や給食
- ・ 親への教育（4件）
- ・ 大人がマナーやモラル、ルールをきちんと守る姿を見せる。いじめは加害者こそ隔離し、保護者と子ども両方を治療し教育する
- ・ 大人の見ぬく力、地域の人、知識力の向上
- ・ 大人の子供達を管理しているという意識をなくすこと
- ・ 大人への周知
- ・ 踏み込んだ家庭への調査
- ・ 年齢で輪切りにする受験勉強教育を止め、寺子屋のように、様々な歳の子と一緒に学べる場を設ける。年長者は年少者を慈しみ、年少者は年長者を尊敬できる状況が自然に育まれる

高齢者の人権（問11・12）

問11 高齢者の人権で問題と思うこと

高齢者に関することで、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。
（「その他」の内容）

- ・ 目上の人を思いやる事を忘れてしまっている環
- ・ 身近で特に話を聴いていない境全て

問12 高齢者の人権を守るために必要なこと

高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思えますか。（「その他」の内容）

- ・ 外部とのつながり
- ・ すでに高齢者の人権は守られている
- ・ これは子どもの頃からの教育が必要である
- ・ より能動的なサポート体制を構築すること
- ・ 充分守られている
- ・ 介護施設、病院の充実
- ・ 高齢者（介護・看護）に関わる仕事上の監視
- ・ 一週間ずっと独りの高齢者をつくらない環境を整える
- ・ 介護士の給金を上げる
- ・ 高齢者への支援体制の充実
- ・ 高齢者のIT教育
- ・ 支援のための具体的な地域連携が見られない
- ・ 日本がそれほど悪い環境とは思わない
- ・ 医療、施設の充実化
- ・ 仕事の確保
- ・ 孤独にしない、高齢者の家族を支えるしくみづくり
- ・ ひとり暮らしの高齢者を近所が気にかける機会があるとよいなと思っています

障がいのある人たちの人権（問13・14）

問13 障がいのある人の人権で問題と思うこと

障がいのある人が地域で生活するとき、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（「その他」の内容）

- ・ 視力障がい者の駅での事故防止
- ・ 障がいに応じた施設の利用
- ・ 障がいの程度によるので、一概に言えない
- ・ 障がい者理解力がそもそもないままに差別視していること
- ・ 目の不自由な人が歩くブロック、横断歩道を渡る時の音楽などがほとんどない

問14 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ 障がいの有無に関わらず全員が暮らしやすい社会システムの構築
- ・ バリアフリーな都市計画
- ・ 特別扱いしすぎない
- ・ 一般企業への就職をしやすい環境をつくる
- ・ 部屋を貸す家主にインセンティブを与える
- ・ あの人はパラリンピックに出たのに同じ障がいのあなたは何もできないと言われる
- ・ 健常者の支援が行いやすい環境整備
- ・ 相談窓口の人が事務的な対応
- ・ 先進国なみの施設を用意する

同和問題（問16・17）

問16 同和問題で人権上問題と思うこと

同和問題で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（「その他」の内容）

- ・ 意識しすぎないこと、騒がないこと
- ・ このように同和問題を取り上げる事
- ・ 現在において差別を感じない
- ・ 現在は、ほとんど差別的な発言など聞かない
- ・ 現在同和問題について話す事もない
- ・ 現状ではなくなっていると思う
- ・ 今はそれ程、差別がないと思う。私は、差別した事がない
- ・ 今時、差別なんてあるの
- ・ 私が若い時代はありましたが、現代ではきかない
- ・ 私の親世代では、よく聞きましたが、最近はありませんね
- ・ 実際には良く分っていません
- ・ 同和問題にすることで知らない人へも知らせてしまう
- ・ 同和問題は社会から見えない
- ・ 認識していないので、未回答とさせていただきます

問17 同和問題の解決に必要なこと

同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(「その他」の内容)

- ・ 同和問題を伝えつづける事により知らなかった世代が知ってずっと続いてしまっていると思う
- ・ 同和問題を知らない人が多くなっているの逆で逆は何もしない方がいい
- ・ あらためてどうするかなど話し合っても、ほじくり返すだけそっとしておくべき
- ・ 若い人はもう気にしてない
- ・ 学校教育等でそのようなことを教えなければ良い。同和問題があることを教えすぎて、皆が知り、差別に発展していると思う
- ・ 問題にしなれば、人に教えないでいられる。明治・大正時代の頃の話だから
- ・ そもそも同和という考えを伝えず知らない環境を整えるべき
- ・ 同和の人達が正しい努力をする事
- ・ 今の子どもや若い人は知らない人が多いのであえて教育しない方がいい
- ・ 太田に来て初めて部落という区別がある事を学校の講演会で知ったので、わざわざ知らせなくて良い事だと思った。同和問題の存在は知っていたが、逆に、特定する機会になってしまう
- ・ 今の世代は同和問題を感じていないのであえて話題にしない方がいい
- ・ 同和問題、そのものをやめる
- ・ 小さい時に教育を受けたが、知らなければ差別する事もないと思った。子どもは知る必要はない。老人や大人が考えを改めれば良い
- ・ 知らない人が増えている世の中であえてほじくなくてもよいと考える
- ・ 自分自身は一度も差別したことはありません
- ・ 同和問題は知らない人が増えているならそれがよい
- ・ 同和の事をあえて話題にしない。知らなくても良い事もある、子ども達にも言わなければ、知っている人がだんだん減り、差別する理由がわからなくなるのでは。甘い考え方だとは思いますが。
- ・ 今まで人権教育等を進めてきているが決して少なくなっているわけではない。その原因を確かめ新たな手をうつ
- ・ エセ同和行為の排除
- ・ できるだけ考えない様にする
- ・ 認識していないので、未回答とさせていただきます
- ・ 皆が同和問題を忘れ去る事
- ・ 若い世代は同和地域を知らない者や言わなければその問題すら知らないのにわざわざ教える必要があるのか
- ・ さわぎ立てず見守る
- ・ 同和問題は過去の事と思っていました。今更取り上げる必要があるのか疑問です
- ・ 気にしなればよい
- ・ 同和問題を知らない人も増えている。わざわざ教育をしてその問題を知らせる必要はない
- ・ 同和って特別な人ではないことの理解を
- ・ 学校で同和問題を習ったが、聞かなければ気にせずに済んだ。習わなければ気にせずに済んだ
- ・ 騒がず自然に終結を待つ
- ・ 同じ人間、話題にする方がおかしい
- ・ 同和問題の根源を子ども達に教える必要がある。もともと人間が作り上げた問題であることを学校教育で教えるべき
- ・ 同和地区と呼ぶこと自体が差別
- ・ あまり騒がないほうがよい
- ・ 子どもは部落差別自体を知らない場合も多いので、あえて教えなくてもよいと思う。知っている世代への意識を変える働きかけが必要
- ・ 話題にせず、自然消滅を願う
- ・ 周知しないこと
- ・ 最低の差別であるということを徹底教育しかないです
- ・ そういうのがあるということを語り継ぐのも問題なのでは

外国籍の人たちの人権（問18・19）

問18 外国籍の人たちの人権で問題と思うこと

外国人が地域で生活するうえで、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（「その他」の内容）

- ・ 入管と処置される外国人が居住していた地域との連絡・連携
- ・ 政府の対応や法制度の不備
- ・ 文化が理解出来ない
- ・ 言葉の壁への対策がなされていないこと
- ・ 生まれた国で暮らせないこと
- ・ 外国人のマナーの指導を希望
- ・ 言葉が通じない
- ・ 日本人とふれあおうとしない外国の人がいること
- ・ 日本語を教える施設が少ない
- ・ 不法滞在の処遇
- ・ 日本のルールを知ってもらうことで色々な問題が起こりにくいと思う
- ・ 外国の方が日本語社会にとけこむ手助けとなる学びの場やコミュニケーション（外国人同士）の場があると早く日本人社会にとけこめると思うが
- ・ 基本的には日本人の問題であると考えるが、外国人が地域に溶け込んだりルールを守る意識が低いことに起因している場合も多い
- ・ 外国人の日本の生活のルールを指導すること。（例）ごみ出ルールを教える
- ・ 外国人も日本の社会生活をもっと勉強すべきだと思う。交通のルールやゴミの出し方など
- ・ 外国で暮らすにはそれなりの覚悟が必要と思う
- ・ 他国に来る以上はその国を良く学んでから来てはどうか。その上で不平・不満を言ってほしい時もある
- ・ 程度問題。主体は国民。郷に入っては郷に従えも必要
- ・ 外国人が外国で暮らす分には何も問題ない。国際社会の中で他国で暮らす外国人の問題をどう受け止めるべきかは非常に難しい理論である。なぜ外国人が外国で暮らすようになったかを子ども達に教えることが大切
- ・ 家庭の状況、文化の違いを理解しあう機会がほしい。言葉が通じないふりをされたこともあります
- ・ 言葉の壁。話が伝わらない

問19 外国籍の人たちの人権を守るために必要なこと

外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ 職業選択の自由を広げる
- ・ 郷に入れば郷に従うを教える
- ・ 外国人が正規で働ける社会作り
- ・ 外国人による
- ・ 外国人だからわからない、当たり前は、ないと思う。外国人も、日本の習慣文化をもっと知るべき
- ・ 同邦であれ異邦であれ人を愛し尊重する心を育てる
- ・ 外国語のサインや対応を増やすのではなくもっとシンプルな日本語で書く・話す。日本人と外国人とのBuddy制を作る
- ・ 日本人の人権が大切
- ・ 難民認定をもっと認めること
- ・ 日本の文化を教えてあげる
- ・ 日本語も学んでほしいが日本で生活する上での常識的な事を学んでほしい
- ・ 日本から各外国人の母国に対する援助
- ・ 日本で暮らすマナーを指導
- ・ ゴミ出しの指導など
- ・ 文化交流イベントを盛上げる
- ・ 職場での日本語教室、日本に何年いても、日本語を覚える機会がない
- ・ ルールを理解してもらうしくみ作り
- ・ ヘイトスピーチは絶対許せない
- ・ 雇用の見直し
- ・ 技能従事者をモノとして扱わないこと
- ・ その国の文化を学びつつ自分を生かして行く事も大切
- ・ 外国人の方々が、我々の生活のために様々なところで働き、活躍していることを市民によく知ってもらうこと
- ・ 日本に来る前に犯罪をさせないルールを教える

- ・一部のルールを守らない外国人を指導すること
- ・犯罪をおこさせない、日本人と同等の就業環境
- ・それぞれが良い方向へ
- ・日本人のための外国語の教育の機会
- ・日本語がわからないからと都合の悪いことは理解しようとしめない方も多いため(町内会に入らないなど)、外国人のほうからも歩み寄る必要があると思います。日本人と外国人の間に入る人がたくさんいてくれればもっとお互いを理解できるのでは
- ・実習生受け入れなどで特に普通に接している

H I V感染者・ハンセン病患者等の人権（問20・21）

問20 HIV感染者・ハンセン病患者等の人権で問題と思うこと

感染者・患者等に関する事で特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。
 (「その他」の内容)

- ・出会ったことがないのでわからない
- ・身近にいない
- ・どんな人にも優しさを。日本の方も、あたたかい人になってほしいです
- ・病気に対する正しい知識を身につけていない
- ・身近にいないのでわからない
- ・周囲の無知

問21 HIV感染者・ハンセン病患者等の人権を守るために必要なこと

感染者・患者等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (「その他」の内容)

- ・ハンセン病やH I Vはすでに恐れる必要のない感染症だという啓発活動
- ・知る機会を与えてほしい。何に困っているのか知りたい
- ・いやがらせや、モラルの低下、病気に関する情報の暴露は止めてほしい
- ・就職支援

犯罪被害者等の人権（問22・23）

問22 犯罪被害者等の人権で問題と思うこと

犯罪被害者等（犯罪被害者やその家族）に関することで、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（「その他」の内容）

- ・ 被害者の方が犯人よりつらい目に遭っている
- ・ マスコミの押しつけで、興味をかきたてるように報道するのはどうかと思う。知る権利を正しく知り活用すべき。特にワイドショー、週刊誌
- ・ 誘導尋問や根拠のないうわさ
- ・ ネットで拡散されること
- ・ 加害者への賠償・謝罪を十分に要求できない

問23 犯罪被害者等の人権を守るために必要なこと

犯罪被害者等（犯罪被害者やその家族）の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ マスコミのプライバシーの徹底
- ・ 過度な取材の禁止、マスコミ規制
- ・ 「もの言う」女性の社会的地位の向上。女性捜査官や裁判官を増やす
- ・ 犯罪者の人権に関して、未成年のプライバシーは守ってほしい
- ・ プライバシー保護を伴う移住費用支援
- ・ 加害者への賠償を強化する
- ・ 犯罪被害者やその家族の意見を聞く
- ・ 良くわからないが、被害にあった方が何か問題にさらされているのであればそれは全て対策してあげなくてはならない
- ・ 被害者の立場に立って考える
- ・ 定期的に相談にのってほしいと思う。

インターネットによる人権侵害（問24・25）

問24 インターネットに関することで人権上問題と思うこと

インターネットに関することで、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。
（「その他」の内容）

- ・ 加害者に対する責任のとらせ方が軽すぎること
- ・ インターネットで匿名が許される事
- ・ 国際犯罪の扱いが難しい

問25 インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと

インターネットによる人権侵害を防ぐためにはどのようなことが必要だと思いますか。
（「その他」の内容）

- ・ AIによるFACT CHECK。FACT CHECKER（安価な）などのソフトがあれば尚良し
- ・ ネットで他人をいじめる事は「はずかしい」と子どもたちから教える（学校で）
- ・ もっと罰を重くする
- ・ 他国との協定を強化する
- ・ システム体制も充実してほしい。何かあってからの対策を教えてほしい
- ・ 登録時の個人情報取得、管理の徹底
- ・ 国内・国産SNSのインフラ整備
- ・ アマチュア無線のように資格試験を設け個別のコールサインを設ける事
- ・ とく名にしない。せめて警察で追えるシステムにする
- ・ 法制備や罰則を強化する
- ・ 情報発信者に対する厳罰が甘すぎる

性的指向・性自認（問26・27・28）

問26 性的指向に関することで人権上問題と思うこと

性的指向に関すること（異性愛、同性愛、両性愛など）について、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（「その他」の内容）

- ・ アウティング問題
- ・ 友人はLGBTですが、トイレに困っていました

問27 性自認に関することで人権上問題と思うこと

性自認に関すること（からだの性とこころの性の食い違いなど）について、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。（「その他」の内容）

- ・ 制服。私学は女子用のパンツがあるように最近はなった
- ・ トイレ・公衆浴場利用のガイドラインが未整備
- ・ 自然に生きる

問28 性的指向・性自認に関することで必要なこと

性的指向に関すること（異性愛、同性愛、両性愛など）、性自認に関すること（からだの性とこころの性の食い違いなど）について、どのようなことが必要だと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ 特別視せず、一人の人間として接すれば良いだけと理解してもらえば良い
- ・ 理解のある職場の公的機関による紹介
- ・ 男女を分けて考える教育をさける、やめる
- ・ LGBTに寛容な社会を作る
- ・ 生活しやすい支援体制をすること
- ・ クリニックの充実。性転換費の補助。ひとりでも多くの方が悩み苦しむ日々から解放されることを願います

3. 太田市の人権に関する取組について（問29～33）

問29 人権問題に関する知識・情報の入手元

これまで人権問題に関する知識や情報を主として何から得ましたか。（「その他」の内容）

- ・ Net news
- ・ SNS（5件）
- ・ Web
- ・ インターネット（20件）
- ・ インターネット、学校（大学）
- ・ 学校（3件）
- ・ 学校教育（4件）
- ・ 学校の授業（7件）
- ・ 組合の学習会。自分で本を買ったり借りたりして読む
- ・ このアンケート
- ・ 小学校の授業
- ・ ネット（5件）
- ・ ネットニュース
- ・ ネットのパナーが一番多い
- ・ ネット等
- ・ マスコミ
- ・ 学校での教育
- ・ 学校の授業、インターネット
- ・ 学校教育等、家族からの教え他
- ・ 仕事
- ・ 仕事の対応にて
- ・ 情報が少すぎる
- ・ 職場の人権研修会
- ・ 親
- ・ 親や教師などの身近な大人
- ・ 身近な方
- ・ 体験者からの話
- ・ 地域社会
- ・ 同和地区問題は学校で教わった

問30 人権への理解促進のために充実すべき取組

市では人権についての理解を深めていただくためにさまざまな取組を進めていますが、あなたは、今後どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ 「思いやりの心」の推進。費用対効果を考えて実施すべき
- ・ SNSでの情報発信（3件）
- ・ いくら市ががんばっても、人々が関心を示さなければ、何も変わらないと思う。影響力のある人を起用すると良いと思う
- ・ インターネット
- ・ 教育（3件）
- ・ 自分から進んで理解しようとしなくても自然に目に入るような方法で情報を発信する
- ・ 自分の身として考えること
- ・ 市民一人ひとりが人権についてどう思っているかを知り、それを今後どうしていきたいのかと分かりやすく掲示するのはどうか。全世代に周知されるためにいろいろなツールを使うとよいのでは
- ・ スマホ等への情報発信
- ・ ビデオ、本、インターネット、家庭内教育、学校教育等
- ・ 学校、企業との連携による講演等
- ・ 学校での教育（2件）
- ・ 学校での授業
- ・ 学校教育
- ・ 学校教育の継続
- ・ 企業内・職場内での研修充実
- ・ 講演会がリモートで観れると参加しやすい
- ・ 市役所でもっと人権に対して取組を強化
- ・ 小学校などでの教育
- ・ 職場・教育の場で（強制的に？）時間を設けるべき
- ・ 生まれた時から、ひとりの人間としての教育の場。いのちの教育
- ・ 太田市民がよく見るネット広告
- ・ 大人、子ども区別なく人権についての理解させる教育が必要だと思います
- ・ 大人に言ってもしょうがない。大人になってから考えは中々変えられない。将来のために、子どもに人権の大切さを教えるべき
- ・ 大人の考え方を考えるのはどうしても難しいと思うので、こども達への義務教育内での人権問題

- ・ 理解を深めるようにするとか
- ・ 問題に対し、対策をとること。あまり、そういう差別があることを教えすぎない方がよい
- ・ 幼児期からの教育と幼稚園や学校での健全な環境づくり
- ・ 老人には、スーパーなどで講演してもらう（短かく、わかりやすく）。若者には、映画の前の告知に入れてもらう（短かく）。親は、PTA総会などで数分時間をとって話をする。学生は、学校で講演してもらう（短かく、わかりやすく）

問3 1 人権が尊重される社会の実現のために必要なこと

人権が尊重される社会を実現するためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。
 (「その他」の内容)

- ・ 人権に理解のない人は変わらない。次の世代の教育に取りこみ改善して行ってほしい
- ・ メディア（テレビや動画配信）をもっと活用する
- ・ 被害にあっている人がもっと話しやすい社会にすること
- ・ もう充分尊重されている
- ・ 教育のあり方を見直す
- ・ 加害者への厳罰化
- ・ いくら市ががんばっても、人々が関心を示さなければ、何も変わらないと思う。影響力のある人を起用すると良いと思う
- ・ すべての市民が人権について理解し、尊重し合える社会を創るのは正直無理だと思う。それで少なくとも今後社会を担っていく若者に周知し、理解を得られるよう教育していくのがよいのでは

問3 2 市民一人ひとりがすべきこと

市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり行動したりすべきことはどのようなことだと思いますか。(「その他」の内容)

- ・ モラルに対する指導
- ・ 日本人の場合もっと自分の権利を主張できるようにした方がよいと思う。主張し、尊重ができないならば近所付き合いはある程度距離を保った方がよいと思う
- ・ 道徳心の教育
- ・ 博愛精神をもってあたる、人類みな兄弟
- ・ 道徳教育に力を入れる
- ・ 自分とさまざまな面で違った部分を持っている人たちもきちんとひとりの人間として認める心をもつこと。他者に目を向けすぎず、干渉しすぎない
- ・ 自発的に調べたり考えたりする
- ・ 外に目を向ける
- ・ 市民一人ひとりに様々なバックグラウンドがあることを念頭に置く
- ・ 自分が変わらなないと、周りを良くしたり、取組を充実しても変わることはないと思う
- ・ 差別を許さないという意識付け
- ・ 他への干渉を少なく
- ・ 他人の傷ついたり悲しかった話を聞くこと
- ・ 太田市の独自ルール強化。あやふやな世の中なので、全国で一番最初に良いこと、悪いことのルール化をして下さい
- ・ 思いやりの心、アサーションを知る（特に幼少で教育があるとよかったなって思います）。人は「別人格」という認識が低いと思っています。私は無理強要の連続で、通りすがりの人も怖い時期がありました。同じ人が一人でも多く減ることを願っています

問33 太田市の人権施策に望むこと

人権施策について、太田市に対してどのようなことを望みますか。ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

記述内容を主なキーワード別に読み分けました。

人権施策全般

- ・ きめ細かい対応があるとよいと思います。(女性・50歳代)
- ・ しっかり義務を果たしている市民が、正当な権利を得て不公平感の少ない社会になることを望みます。真面目にまともに暮らしている人が守られず、ずるい人が「人権」の名のもとに守られることのない社会を望みます。(男性・40歳代)
- ・ どれとしてひとつだけ飛び抜けて気になる事はないです。それぞれに少しずつ気にして、日々の中でちょっと考え、ちょっと思い、まわりの人々とちょっと話す。無関心なわけでもないが何もしていないのが現状。国や市や県や世界が取り組む事を見ることで、心に止めている程度の生活です。(女性・50歳代)
- ・ マスコミの報道、ニュース、個人の発信などで最近よく感じるのですが、「外国人だから」「高齢者だから」という決めつけたような論調で語られることが以前より増えたような気がします。また外国人でも高齢者でも(日本人でも)ごく真面目な人もいれば、犯罪に走る人もいるという至極あたり前な事が分かっていないのでは、と思うことがあります。太田市は外国人の方が多く居ますが、上記の事を踏まえて市の政策を進めていただきたいと思います。(男性・60歳代)
- ・ もっと取り組んでほしい。(男性・40歳代)
- ・ 外国人が多いので、太田市に転入する際や、アパート等に入居する時に、日本で暮らす上でのルールの説明や、地域の活動への参加を促すなど、もっと地域に溶け込めるように、最初に手厚くサポートする必要があると思う。外国人の生活スタイル等、分からないことが多く、街で見かけると怖いと感じることもあるので、もっと交流の場を増やしたり、通訳の方を増やす等して、相互理解すれば誤解や先入観が減らせるのではないかと思う。高齢者の方の意識を変える働きかけも必要だと思う。(女性・30歳代)
- ・ 個人個人の自覚が大事。今の世の中誹謗中傷は止まらない。思いやりも大事だが、自由すぎる。日進月歩の世の中、インターネットの時代、ささいなことでも対応できる窓口、大変なことですが。同和についても未だ問題にされることはもう古い考え。昭和生まれまでの人間にありがちとは言うもの、ありがちな話だ。(男性・70歳代)
- ・ 差別のない太田市民でよかったと思えるように。世界から見たら日本は住みよい国と思う。(女性・80歳以上)
- ・ 差別やいじめのない環境であることを望みます。自分の意見を言いたくても言えない人、自分ひとりで悩んでいる人もいると思います。時代は変化しますが、本来の人間のやさしさと人を思いやる心を忘れずに平和な世界であることが当たり前になるように、これからもお力をお貸し下さい、よろしくお願い致します。(女性・50歳代)
- ・ 市としての取組の実例を感じられない。コロナワクチン対策のような積極的な数字で伝えるような活動を願います。(男性・70歳代)
- ・ 市の予算をたくさん使う事をせずに人権施策を進めて下さい。(女性・70歳代)
- ・ 私がどの様に考えているかというより、行政に携わっている国、県、市町村の代表の方々がどの様に考えているか知りたい。私の中では大よそ理解して暮らしています。一番の問題は毎年毎年どこかで講座などで取り上げられ、はっきりした言葉もなく中途半端な気持ちで終わってしまう同和問題が人権問題の項目にのらない様な時代になってほしい。さらに現代では言葉を選んで話さなくてはならない教育の場でも悲しい事件が多すぎます。親が勉強して人権について子どもと話し合うべきだと思うし、日常を通して自然と教えるなくてはならない。市への要望は明るい太田市です。文化を大切にもっと交流をもてる様に個人も大切。でも思いやりを持って。(女性・70歳代)
- ・ 私は、今まで人権に関する問題の経験がありませんが、人権に関する問題はなかなか難しい問題だと思います。見た目や人種などの違いに少しでも違和感を感じると周囲の人はすぐにそれを指摘する。今はネット社会でそれをおもしろがる人もいます。被害者が相談できる場がもっともっと身近になればいいかと思います。相談だけでなく、しっかり相談に対して向き合ってくれる、相談者が心を開ける場がコンビニ(気軽に連絡できる、行ける)のような感覚であればいいのかなと思います。(女性・30歳代)
- ・ 私は外国の方が多いのだから、市のお便り、ゴミのお知らせ等、ブラジルの方、ベトナムの方等向けに出した方がよいと思います。その方々が地域の約束事(ゴミの出し方等)を知らないために、ルール以外のことをして偏見(日本人の)を生むことがある。言葉や実物を通して教えてもなかなか

か通じないこともあるので、基本的なことは外国人向け市のお便りに出してほしいと思います。人権（同和教育、ハンセン病、LGBT等）に関する学習会をコロナが落ち着いたら市の方でやってほしい。目の不自由な方、耳の不自由な方、その他障害を抱える方に対して、地域のサービスが十分か検討してほしい（ブロック、点字、手話通訳、文字による案内と）。（女性・60歳代）

- ・自分のことだけを考えるのではなく、他人に対してやさしい心を持てるような活動をしてほしい。（男性・40歳代）
- ・情報が氾濫している現状では、今後増々フェイクニュースやデマ、嫌がらせ、中傷など人をキズ付ける言動が増えると思われる。子どもから大人までこれらの問題に真摯に向き合い、他人の思いやり、尊敬などの教育等や取締りを強化すべきだと思います。このままでは更にひどい社会になって行く気がしてなりません。（男性・70歳代）
- ・色々心や生活の中で問題を抱えていても、市役所の人や警察の人に話すのはなかなか出来ない。人間と人間なので理解されない人に話した場合、一層辛くなることがあります。とてもむずかしいです。（女性・60歳代）
- ・人の心の問題なので非常に難しい。ただ相談できる人、場所はぜったい必要だと思います。（男性・60歳代）
- ・人権が尊重される社会を実現するための取組は充分だと思う。（女性・30歳代）
- ・人権でいろいろなことが大切だと思えるような環境づくりの充実。差別はいけなと言われるけれど、私はその人がどういう人間で、モラルがある人なら同性愛だろうが外国人の人だろうが高齢者だろうが関係ないと思う。人への思いやりがあれば私は仲良くできる人はいっぱいできると思っている。人と違うと自分達と違うから嫌だっというのは無くなるよう周りと協力して対策を強化していくのはいいけれど、その人自体は何も努力をせず周りにずっと助けてもらおうという思考もよくないと思うので、差別を受けてしまっている人も何かしら変わろうとしていけばよくなると私は思っています。（女性・18-29歳）
- ・人権で被害にあわれた方がいれば救済してあげてほしい。そのような差別があることをあまり教えすぎない方が良く思う。差別があることを知って、差別する人が出てくる。（男性・40歳代）
- ・人権に関する意識を日頃考える事はなかったと思う。テレビ等では犯罪問題や虐待問題、インターネットによる人権問題が報道される時は、怒りや情けなさ痛感する事はあります。（男性・70歳代）
- ・人権を尊重し合える差別のない社会の実現のためにとあり、とてもよい事だと思います。しかし、

その活動を逆手に取る方も出てくると思います。大変な取組だと感じています。このような形での協力になりますが、がんばって下さい。（男性・40歳代）

- ・人権施策等について継続的かつ、ぶれない姿勢をくずさず少しずつ頑張してほしい。学校で人権を学んでも社会に出ると、その悪い方の波にのまれてしまうことがみられます。学校でやったからではなく、市、社会でも取り組むことが大切。人権についてはゴールが見えづらい、細かなステップにて評価し少しずつ進めていってほしい。協力していきます。（男性・60歳代）
- ・人権尊重がすべてです。（男性・60歳代）
- ・人権問題は、日々新たな問題（新しい課題）が生み出されている現状にある。（おもてに出てきている）これらを広く収集していくことが第一歩であろう。人権擁護委員だけでは実態の把握が難しい面があろう。その辺の課題解決することが現状のニーズに応じた対応につながる。日々大変な業務であろうと思うが、命に直結する課題なので、一層幅広い活動をお願い致します。（男性・70歳代）
- ・人権問題は秘密事項が多く、プライバシーの侵害となり、地域の交流もなく、どこで何が発生しているか知らされる事も無く、問題点も見えない。コロナ問題も詳しい事は報道されず、人数であたふたし、不安ばかりで、最後で同じ問題としました。人権尊重社会の実現のための取組の選択肢（問31）どれも人間としての常識で一人ひとりが考えること。（女性・50歳代）
- ・生活をしやすいにする。弱い者を守る。弱い所を守って強くする。快適に生活できるようにする。（経済政策も含む）良い国をまねて、悪い国は決して見習わないようにしてほしい。（女性・50歳代）
- ・昔から言われたり、してきたことが、何でも古く、悪い事ではなく、生まれたばかりの赤ちゃんも、歩けなくなった高齢者も、みんな同じ命。大切な命、そこがしっかりと心に根づいていけば、長く続いてきた慣習も、よいことがたくさんあると思います。（女性・60歳代）
- ・全世代、どんな人でも普通に暮らせる「平等な社会」を望みます。今まで当たり前だと思っていたことが、これからはそうではなくなってくるかもしれない。今までの概念にとらわれずに、常に今よりも良くを求めて頑張ってもらいたいです。（男性・18-29歳）
- ・太田市がますます発展する様、明るく楽しく生きられる様、私自身もいつも心がけております。一人一人が一生懸命、生きてそして、明るい、太田市、人と人のふれあいを大切に。（女性・80歳以上）
- ・太田市ではないが、〇〇格差と思われるものにつ

いて、それらを解消するために安直な「優遇措置」を選択するのは間違いだとしばしば感じる。その優遇が原因で不遇が出てしまう可能性があるからだ。それらの解消は難問であるが、安易なものより理にかなった施策を望む。(男性・18-29歳)

- ・ 太田市に住んで良かったと思えるようにお願いしたいです。高齢者、外国人、障がいのある人達にやさしい町づくり。子どもには安全な道路、歩行路の見直し(外灯など)、パトロールの強化。これからも太田市民の為によろしくお願ひします。太田市が大好きです。家族一同。(男性・30歳代)
- ・ 太田市の皆様が安心安全に暮らせる事、そして差別がなく一人一人が心穏やかに毎日をすごすことができること。(女性・70歳代)
- ・ 太田市は他の市に比べて、外国人を小さい時から見慣れていて、今も学校や職場に多数います(保護者も含めて)。そのため、ずっと仲良く暮しています。同和や病気の方達とは接触したことが無いのであまり声高に問題にしない方が良いでしょうに思います。犯罪被害の方は本当にお気の毒です。女性や子どもに対する性犯罪者は病気だと思うので、出所してからも次の被害者が出ないようにGPSを付けて、常に居場所がわかるようにして欲しいと思います。(これは市より国への要望ですが)是非お願いしたい事です。(女性・60歳代)
- ・ 頭では分かっている、行動に移せないのが日本人の特質だと思うので、もっとグローバルな社会にしていくことが大切だと思う。また、その上でしっかりとプライバシーを守ることもしていかなければならないと思う。とにかく今はコロナがどうにかならないと何もできないし、コミュニケーション障害がおこるだけ。(女性・30歳代)
- ・ 特に人権問題に関心はありませんが、苦しんでいる人もいます。市民の方が元気で明るく毎日を暮していける太田市になりますようにお願い致します。(女性・80歳以上)
- ・ 難しい問題ですけどがんばって下さいね。(男性・50歳代)
- ・ 貧困家庭の支援、母子家庭の支援、フードバンクの周知活動、事業所の拡大・いじめ、不登校の子など、学校以外の居場所づくり、フリースクールの周知、支援所を増やす。外国人による犯罪対策。ここ数年子どもへの被害が増えている。障がい者や支援が必要な人への支援所。(女性・40歳代)
- ・ 法律と日常生活の中であって、人権についての施策は、行政に携る皆様に力を発揮して頂きたいと思います。(女性・40歳代)
- ・ 民間ボランティア等の活動がまだまだ活かされていないように思える。官だけで解決しようとするのではなく、表に出てこない民間のスペシャリストを頼らなければ問題解決まで時間ばかりが

過ぎていく。ハードルの高い募集だけではなく、もっと簡単に、気軽に協力してもらえような公募も行い、スペシャリストを発掘し、いじめ、女性問題等の取組を行っていくべきだと思う。(男性・40歳代)

女性

- ・ このような調査をして頂きありがとうございます。調査だけにならないように期待しております。(女性・40歳代)
- ・ 問1(特にどの人権問題に関心がありますか)に女性や子ども、高齢者の選択があるにもかかわらず、男性の項目がないことは差別ではないかと考えます。よって男性に対しても配慮をしていくべきだと思います。(女性・18-29歳)

子ども

- ・ 今の社会は1番大切な事がなっていないです。子ども達に小さい時から土で遊ばせ、作る喜びや楽しさ、色々な事をさせて、明るい、いじめのない社会になってほしいです。(女性・70歳代)
- ・ 今の世の中、女性に対して過度になっている。子どもに対して甘すぎる、今の子どもは自分一人では何もできないような子どもになってしまうかのほうが心配です。(女性・70歳代)
- ・ 子ども達が安心してすごせるように差別のない日常にしてほしい。(女性・30歳代)
- ・ 子ども達の将来、小・中学校、高校での「いじめ」をゼロ目標とし、子ども達の人生を明朗に学校生活送らせてあげたいものです。子どもは国やその地域の「宝」でもあります。健やかに生育される事を望んで止みません。「いじめ」による自殺者をひとりでも出してはいけません。(男性・60歳代)
- ・ 私と弟や妹はずっといじめられ、時に学校の先生からも理不尽があり、学校に行けなくなりました。何か理由があったのかもしれませんが、頭ごなしで話を聞いてもらえませんでした。それぞれに人格があるのですべて思い通りにはいきませんが、最近「アサーション」について知って、ぜひ「三つ子の魂百まで」の時期に「思いやる。でも自分の気持ちも大切に。」の教育があるとすごく良いなって思いました。「ほめトレ」はすごくステキな群馬の活動なので、太田でも何かあると良いと思います。(女性・30歳代)
- ・ 私は太田市民・群馬県民・日本国民として訴えたいことがあります。群馬県に対しては、県立女子大学を男女共学の「群馬県立大学」に改組し、男子生徒の教育を平等に受ける権利を保障する。少子化が進む昨今、県外の大学に進学、そして就職というのを地元の学費の安い公立大学で男女が共に学び、地元就職する人が増えることは少子

化対策の1つとして大事だと思います。(女性・70歳代)

- ・孫がいるのでいじめ問題に関心があります。(女性・60歳代)
- ・必要な人に「子育て支援」が受けられるよう充実させていただき、小さな子どもが虐待などの被害に遭わない町になるといいなあ、と思います。(女性・40歳代)
- ・保育士の待遇の改善。(女性・30歳代)
- ・幼稚園、保育園、こども園等での男女区別の認識を柔軟に行ってほしいです。男の子は青、女の子はピンクという分け方が多く、大きくなってもその認識が強いので偏見が生まれやすいように感じます。市内でも平等に黄色を使っている園があったり、変わってきていると思いますが。(女性・30歳代)

高齢者

- ・運転経歴証明書のある人は車の運転ができないので不都合をしていますので、タクシー券でも配布していただけたらと思いますので、よろしくお願ひいたします。(男性・80歳以上)
- ・介護福祉施設はほんとうにありがたいです。介護士さんにも感謝です。介護士さんにやりがいのある職場、給料とか魅力のあるように宜しくお願ひ致します。(女性・80歳以上)
- ・高齢化(高齢者)により、いろいろ悩む事もあります。耳をかたむけて、少しでも暮らし易い町作りをして頂きたいと願ひます。(男性・60歳代)
- ・高齢者に対する特殊詐欺防止のため、当家では電話帳への電話番号の登録をやめているが、見知らぬ業者や会社から電話がかかってくる。これは過去に何らかの登録をした自宅の電話番号等の情報が勝手に出回っているとしか考えられない。何とかならないものか。(男性・70歳代)
- ・仕事ができない又はしていない高齢者に対し税の負担が大きい。また、年金が少ない。介護体制が悪く、なかなか介護を受けられない。(女性・60歳代)
- ・近所の道が狭い。高齢者、障がい者が電動車椅子で出かけられるというのも人権の問題の一つかと思いますが、自転車の小・中・高校生に対しても狭い道です。(女性・60歳代)

障がいのある人

- ・「障がい者だから、子どもだからすべて許してもらえ」という考えではなく、障がい者であっても子どもであっても、他人に危害や迷惑がかかる行為はだめだと思うのです。公平に行って頂けたらと思います。(女性・40歳代)
- ・視覚障害者や聴覚障害者の方が、安心して日々の生活を送ることができるよう、まちの整備や、病

院などに援助できる人を配備など考えてください。(女性・60歳代)

- ・障がいのある人が差別されない太田市にして下さい。(男性・50歳代)
- ・障がいのある人が子どもの頃から安心して学校に通学できるようにして欲しい。普通学級にもっと入れる様にして欲しい。障がい者を雇用する一般企業がもっと増えないといけないと思う。(男性・50歳代)
- ・障がいを持つ方の働ける場の拡充を進めていただきたいです。(男性・18-29歳)
- ・障がい者相談室をつくってください。太田市生活支援(ホームレス等障害者相談支援ネットワーク)課をつくってもらいたい。(男性・50歳代)
- ・体の不自由な人に対しての街づくりがあまりなされていない気がします。例えば、車イスの人とかは段差がありすぎて安全に出歩けないと思います(幅なども狭いため)。前に横浜に行った時に横浜は障がいを持っている人には、すごく住みやすそうな街だと感じました。駅前のマンションから道一本で駅まで行ける様になっていたりしたので。(女性・40歳代)

同和問題

- ・同和問題について、昔ほど気にする人が少なくなっているのは良い事では。(女性・60歳代)
- ・私自身、結婚をするときに、名前と住んでいる地域で自分の家族から主人に対して差別を受けました。とてもくだらないとしか思いませんでしたが、私の家族には全く理解してもらえませんでした。未だに部落差別は存在すること、それが自分の家族であることにショックでした。私は差別を受けた主人と結婚しました。私はとても幸せですし、これからも、もしそのようなことで悩むことがあれば、全力で立ち向かおうと思っています。どうかもっと明るい未来になりますように。(女性・30歳代)
- ・私は地域や職場などで差別を受けた事はありません。同和教育をしっかりと頂きたいです。人々の心から差別がなくなることを願っています。(女性・70歳代)
- ・あまり差別と言わなくてもいいのではないかと。同和教育、差別と頑張り過ぎ。学校で先生がやんわりと教えればよい。(女性・70歳代)
- ・同和と言うことばがなくなればいいのに、大人になってから知りました。講演会で知りました、知らなくてもよいことばです。(女性・60歳代)
- ・同和問題ですが、これを解決するには小さい頃からの教育が適しているのではないかと思います。我々の年代は、親(大正生まれ)から自然に教え込まれて、学校での教育はなかった。我々の孫が成人になった頃には、同和問題を取り上げるよう

なことの無い社会になっていることを願います。
(男性・70歳代)

- ・ 同和問題ですが、昔から見るとだいぶ話をしなくなってきました。あと20年、30年後にはこのような同和問題の話もなくなると思います。そっと静かにしておくことだと思います。この問題だけはそっと、静かに、静かに。(男性・70歳代)
- ・ 同和問題など、今の子ども達(私も含め)は、あまり理解していません。理解させようとしているところにまちがいがあるのでは。知らないなら、一生知らないほうが、いじめなど差別などないと思います。知ったことにより、いじめ、差別が発生するのではないのでしょうか。中途半端な教育はしない方がよい。(女性・50歳代)
- ・ 同和問題は、以前よりだいぶよくなっていると感じます。学校や市での取組が成果をあげていると思います。太田市は外国籍の方が多いですが、その方々の人権が守れるよう、学校や市での啓発活動の充実をお願いしたいです。(女性・60歳代)

外国籍の人

- ・ 30~40年前ごろまでは近くには外国籍の人達をあまり見かけなかったような気がしますが、最近では外国籍の人達が増え、日本に住む以上その国の法律を守って暮らしてほしいです。(女性・70歳代)
- ・ スーパーや車の販売店でも外国の方が多く働いていて職場でのダイバシティが進んでいる事がわかります。ただ、このように(私のように)外見、容姿だけで「外国の方」と思っていること自体が差別なのかもしれません。子ども達には、小さい頃から、身近に多様な人々が居て、正しい知識を持ってもらうことが大切だと思います。(男性・40歳代)
- ・ 育っていく中で知識や偏見等が身についていくものだと思います。私は外国籍の人と知り合い、分かち合う時間がたくさんありましたが、多くの人はそういった事はありません。今はコロナでむずかしいとは思いますが、各地域でふれ合うイベントなどがあったら良いかと思います。1つの場所(例えば市役所など)でイベントをやるのではなかなか足が向きませんが、同じことを各行政センターなどでやっていけば、近くのところへ足を運ぶこともあるかと思います。大変ですが、そういった小さな取組で広く市民に知れわたってもらえるといいと思います。(女性・40歳代)
- ・ 外国人だからという理由で家が借りられない、スマホの契約ができないといったことがあります。一生懸命働いて、仕送りをしている人達です。どうかこんな差別的な事がなくなる事を願っています。(女性・50歳代)
- ・ 外国人に対する偏見の根っこには、外国人の知識不足によるすれちがいがあると考えている。正しい知識を身につけてもらうための施策を願います。(男性・30歳代)
- ・ 外国人に日本のマナーを教える事。(男性・70歳代)
- ・ 外国人への日本文化の共有。外国人への労働支援。勉強会もしくはネットで配信、経営向けの就労許可証の初心者向けのビデオとか。むずかしい言葉を使わないようなもの。(女性・30歳代)
- ・ 工場の多い太田市は外国籍の人も多くなっています。問題になっている技能実習制度を悪用して外国籍の人々を不当に扱っていないかチェックする施策をして、気持ちよく働き、日本でつらい経験をしてほしいと思います。日本語や生活について学べる場所をつくり、雇用している企業が責任を持って学ばせる制度ができてほしいです。(女性・50歳代)
- ・ 私の地域ではあまり差別はないように思われます。ただ他の地域の話を見ると結構あるようです。たとえば外国人に対して、又は、他県から引っ越してきたとか、まだまだそんな所があるようです。外国人にはマナーを教えるとか、少しずつふれあえる場を設けたらいいと思われま。コロナ禍ですのなかなかそういう場が出来ませんが、ワクチンで少しでも減ってきたら、少しずつ活動し、あたたかい太田市になるといいなと思います。(女性・70歳代)
- ・ 世界中の人々の交流が頻繁となり、又人々の考え方が多様化となり、私達の頭がついていけない(理解されない正しく)事で人権問題が発生していると考えられます。従って①言葉の壁を減らす工夫、②啓発活動をあらゆる場所、あらゆる機会で行う③世代間交流④男女共同参画の徹底など。(女性・70歳代)
- ・ 昔、アメリカで東アジア人(日本人)というだけでヘイト被害の差別を受けたことがあります。20代でしたので、驚きを隠せないのはもちろんのこと、今も時々思い出すことがあります。人権問題は難しいですが、太田市は外国の方々も多い中、住みやすい町だと思います。活動を応援しております。(女性・50歳代)
- ・ 太田市は、外国の方々も多く居住されている地域なので、そのような実態を受けとめ、どのように共生していけば、一人ひとりが自分らしく、人間らしく生活できるかを模索していく必要があると思います。また、将来を担うこととなる子ども達が、自分自身のことや環境について考え、少しでも自分は居ていい存在なんだと思えるような地域社会を創っていただけたらと思います。(女性・18-29歳)
- ・ 太田市は、日本の中でも特に外国人が多い街。市民も外国人との交流場面が多々あるので、すごく

問題になるほどの差別はあまりないのでは。何か不安がある時、気兼ねなく相談できる場所を増やし、市民がどんな事でもすぐに相談できるように呼び掛けが必要。(男性・50歳代)

- ・ 太田市は外国籍の方々も多いですし、最近では性的指向や性自認をオープンにしている方も増えてきてはいますが、まだまだ住みづらいと思う人も多い様に思います。正しい知識を持つ事、自分との違いを認める事の大切さを大人であっても、改めて考える必要があると思います。実際、困った事があった時、どこに相談したら良いか明確だと自分も当事者となった時、助かると思います。(女性・50歳代)
- ・ 東毛地区は外国人の方がたくさん住んでいるため、外国人同士でのお祭りやイベントに日本人が参加して、交流を深める必要があります。太田市として、お祭りの開催や交流する機会のイベント等の開催を希望します。(男性・60歳代)
- ・ 幼少期からの教育が必要。(男性・40歳代)
- ・ 様々な立場の人が多いと思うので、その良さを活かして欲しい。他国籍のイベント、その立場の人を学べる映画、外国語を「英」だけにしない。きっかけがなければ偏見が増え、相手の立場に立って行動することができない。知るきっかけを作ってほしい。(女性・30歳代)

インターネット

- ・ インターネット上の誹謗中傷に対する罪を重くしてください。守られないと何もネット上で発信できません。向こうは軽い気持ちで書いたことでも、こちらには何百人もの人に言われているので精神的にまいってしまいます。(女性・50歳代)
- ・ 現在、最も憂えることはネット被害です。相手が見えない世界での誹謗・中傷はとても恐ろしいと思います。SNSに振り回される子ども達、若者。小・中・高の学校におけるネット教育の推進をより一層お願いしたいと思います。(女性・60歳代)
- ・ 最近の問題の中で、インターネットでの投稿における質の悪さが気になります。他人を傷つける度合いが大きくなりつつあり、顔が見えない中での身勝手な投稿などは取り締まりを強化するべきと感じます。(男性・60歳代)

性的志向や性自認

- ・ LGBT への理解を深める教育。男女だけではなく、様々な人がいると、幼い頃から教育していくのは大切だと思います。同性婚等。様々な人が生きやすい社会づくりが必要だと思います。(女性・40歳代)
- ・ 同性愛者について、現状がまだよくわかっていないので意見を言えないが、トイレ、共同浴場など、今まで性差で区切られていた場所の利用につい

て多くの混乱を心配している。(男性・60歳代)

貧困

- ・ 世界全体の事だと思いますが貧富の差が増々ひどくなっていると思います。財産の無い高齢者等は、年金だけではとても生活できない状態だと思います。(女性・70歳代)
- ・ 太田市民が穏やかな生活が出来る様に、貧困をなくし、皆様が平等になれる太田市民でありたい。(性別・年代不明)
- ・ 路上生活者(経済的自立困難者)の保護。経済的自立困難者のいない社会の実現を目指して欲しい。(男性・40歳代)

教育・啓発

- ・ 「人権」とあらためて問われると非常に曖昧な自分がいる。ついては、これは「よい」、これは「ダメ」という基準(太田モデル・太田スタンダード)が整備されることを希望する。基本は、事実を踏まえた上での、子ども・大人は問わず「教育」だと思う。(男性・60歳代)
- ・ SDGsをもっと前面に出した方がいい。女性という言葉を使わない(ジェンダー平等)。教育の充実。(男性・18-29歳)
- ・ イベントや映画を企画してもあまり伝わりにくい。もっと良い方法はないですか。広報だっって見ない人だっってたくさんいる(自分には関係ないから)。(女性・50歳代)
- ・ ただ配布するだけのチラシや冊子などはお金の無駄だと思います。知るべきこと、知りたい事など、すぐに検索できたり、人権に対する確かな知識を学べる場、講演など、どんな人にも分かりやすく教え、伝える事も大切だと思います。人権を差別されている人達の生の声も聞けたら、知りえなかった事も知る事が出来るし、そんな差別もあるのかと考える機会にもなると思います。(女性・40歳代)
- ・ ホームページ、パンフレットなどでは自発的に情報を得ようとした人にしか伝わらないので、その他の方法をとってほしい。(女性・30歳代)
- ・ ポスターやキャンペーンなどを行い、全ての人々へこのような施策を行っていることをアピールする。学校教育を充実させる。人々の心から他者をうやまう心、行動が生まれることを願ってやみません。力をあわせて実現へ向けて頑張りましょう。ありがとうございます。(女性・50歳代)
- ・ まず、教育・啓発活動をしてほしい。特にこれから子育てをするある程度大人の世代について、正しい考え方、知識を教えてほしい。大人が間違っていると子どもも正しい知識を身につけられない。最近は色々な人権問題がメディアやSNSや身近なツールで取り上げられているのに、対岸の

- 火事としか捉えていない人が多くいると思う。まずは社会の大勢を作る大人の教育をし直してほしい。それと並行して子どもの教育（未就学児から）を行ってほしい。（女性・40歳代）
- ・ むずかしい問題もあり大変だと思います。一人一人が良い事、悪い事をよく理解する事が必要だと思います。（女性・70歳代）
 - ・ 学童期における人権教育は確実に私達の世代では有効であったことを実感しているため、市営の小学校からの義務教育で人権教育を引き続き行っていくことを望みます。（女性・18-29歳）
 - ・ 教育、その指導者の育成。問題に触れる機会を多く設ける。（女性・50歳代）
 - ・ 教育の場や職場での講演会の実施、講師の育成（市職員）。（女性・18-29歳）
 - ・ 具体的な事例で啓発していく（理解を深める）。（男性・60歳代）
 - ・ 啓発のために様々な施策を講じていることを理解しているが、今後も一層の事業の展開を望みます。特に重点を置いてほしい活動は、関心をあまり持っていない人々への働きかけです。そのような人々は広報に人権問題を取り上げても、無視したり、あるいは素通りをしてしまいます。イベント、講演会、コンサートなどとタイアップして、関心を持っていない人達も取り込んでいくことが効果的だと思います。（男性・60歳代）
 - ・ 決定権のある人が、「もし自分がされたら」と思って考え、行動してほしいです。（男性・40歳代）
 - ・ 現在身近に感じていない問題なので、「太田広報」や、地域の「回覧」などで情報提供していただけたらと思います。（女性・50歳代）
 - ・ 広報紙等により、これまで以上の情報を発信していけば良いのではないかと。（男性・70歳代）
 - ・ 講演会やパンフレットなどではなかなか良くなならないし、そもそも価値観を変えることは難しいと思う。大人の世界だっていじめはよくあるくらいだから、子どものいじめをなくすのも難しいと思う。でも、やらなければかわらないので、色々なことを話し合っ、色々なことを試して、少しずつでも良い方向に行けるように地道に1つずつ取り組んでいってほしいと願っている。自分がされたら嫌なことを他の人にしないって事ができればほとんどの問題は解決すると思う。1人でも多くの方が救われるよう、市の取組を応援しています。（女性・40歳代）
 - ・ 今現在までそういった人権侵害にあった経験がなく、周りにもいませんので、今一つよく解らない状況です。しかし、映画やTV、SNSなどで毎日のように人権侵害の被害が出ている状況はわかります。今後共皆で協力していかなければならないと思いました。（女性・60歳代）
 - ・ 差別はなくならないので、その意識行動を正しくしていく教育が大切。（女性・50歳代）
 - ・ 子どもに対する教育の充実と教師の資質の向上。職場における啓発の充実と働きかけ（行政から企業へ）。（男性・60歳代）
 - ・ 子どものあいさつや人権を無視した発言が気になります。みんな助けあいながら住みやすい太田市になってほしいです。（女性・40歳代）
 - ・ 子どもの前で親や祖父母の口から出る差別的な言葉や態度が、子どもに差別の芽をうえつけてしまうと思うので、大人の意識改革するための場を作るべきだと思います。（女性・50歳代）
 - ・ 子どもは、祖父母、両親の会話や態度などから自然に人権差別を覚えて育ったのではないかと思います。学校教育の道徳（モラル）などで正しい知識を子どもの頃から学ぶ事がいいのかなと思います。なかなか難しいとは思いますが、自分が差別されてイヤな事は皆イヤですから。（女性・70歳代）
 - ・ 子ども達が差別を学んでしまう前に、教育現場で「差別はいけないこと」と教えてほしい。自宅でどれだけ話しても、学校で友達から学んだことはなかなか覆せないです。（女性・30歳代）
 - ・ 子育てに関してはとても充実していると思います。学校の教育で、ただ勉強するだけではなく、お金の稼ぎ方や世界の同世代の子ども達がどういう勉強をどういう状況でしているのかを教えてください。時間を設けていただくと、子ども達も考える幅が広がると思います。（男性・30歳代）
 - ・ 市民の一人一人が正しい知識を身につけるためには、子どもの時からの人権に対する教育は重要だと思います。教師の不道徳な行動も以前から目立つので、いろいろな面でチェック体制も厳しくしてほしい。人々が差別なく暮らせる街にしてほしい。（女性・60歳代）
 - ・ 自分は幸い、差別扱いはされた事はありません。身近に精神的な疾患の人の方がいて、一緒に働いております。一見わがままな主張をしてくるのですが、本人は自分の精神のバランスをどうにか保とうと必死なのだという事が理解できるようになりました。社会の中で、彼女が働いている事自体、立派な事です。たくさんの情報が雨のように降り注ぐ中、溺れそうな私たちですが、身近な所から見つめ直して、自分の心に忠実に行動して行きたいと思います。おこがましいのですが、上記のような、市民の体験談や、気づき、意見を広報の片隅に毎号載せたら、「私もこんな意見があります」と関心を引くのではないのでしょうか。（女性・60歳代）
 - ・ 自分も含め、ある程度人生経験を重ねてきた人間の考えを修正していくことは難しいと思う。もちろん努力は必要だと思うし、変化していかなければと思うが、どうしても表面上になってしまう

- (本当に正直な話ですが)。そのように考えると、子どものうちに人権感覚を「当たり前」に身につけさせていくことは非常に重要だと思う。人権尊重が当たり前身につけている子どもを増やしていけば、未来は変わると思う。時間はかかるが一番必要なのではないかと感じる。(男性・40歳代)
- ・ 周りの人の話を聞いて思い込みで差別してしまう心が誰にもあると思います。いろんな行事が行なわれると思いますが、そんな時にポスターやチラシで正しいことを伝えて行くべきだと思います。(男性・70歳代)
 - ・ 小、中学校での人権学習をする機会を増やしてほしい。(女性・50歳代)
 - ・ 小さい頃からの教育不足あり。公共の場での外国人さんと接する場が少ないため、どのように接したらよいかわからない人たちが多。それを見て、子ども達も接し方がわからないようだ。新聞を見ることもなく、TVもみない人も多くなっている。SNSやLINE等で太田市の住人に対し、通知や広告、配信などで、目につく場を増やした方が興味を持ってもらえると思う。私自身、人権施策についてよくわかっていないため。また、新聞やTVをみることも少なくなってきた中で、スマホはよくみるので。住みやすい太田市になる事を期待しています。(女性・30歳代)
 - ・ 小学校、中学校の授業の中に道徳人権教育を入れる。(女性・60歳代)
 - ・ 小学生の頃学校で勉強が出来なくていじめられるのは昔も今もあると思いますが、中にはまじめに勉強していてもみんなについていけない子がいて、落ちこぼれてしまうので、将来ずっと劣等感を持たない人間になってほしいので、先生の指導が重要な役目だと思います。同和問題については、今の若い人達は知らない人も多いと思いますので、高齢の人が教えない様にすれば差別もなくなって行くと思います。(女性・70歳代)
 - ・ 小学生の子どもを持つ母です。子どもの頃から、みんなが同じでなくてもよい、違ったところも個性と自然に認められるような教育環境であつたらいいと思います。家庭ではもちろん、学校でも、個々を尊重してもらえる教育をしてくれるといいと思います。太田市は、外国の方も多いので色々な文化を身近で知ることのできるグローバルで多様性を認めあえる都市になつたらいいと思います。ポジティブな交流ができる機会を、子どもも含め体験できるといいのかなと思います。(女性・30歳代)
 - ・ 親子、姑など身近な人からの心ない言葉で傷つき、一生忘れないと感じてきました。年配の方々は自分の意見を主張する人が多く、子どもの意見は聞かないが、他人の意見は聞くことが多いので、引きこもり予防のためにも、地域で講演会など他人の意見を聞かせる機会を作ってほしい。今はコロナで難しいと思いますが。(女性・60歳代)
 - ・ 人が固定観念を植付けられる前に、小学校や中学校で正しい人権の考えを教育していく事が大事だと思います。(男性・70歳代)
 - ・ 人権に対する正しい知識を子どもの頃から身につけさせ、思いやりのある人に育ててほしいです。(女性・60歳代)
 - ・ 人権に対する知識の不足が人権侵害に繋がると感じる。学校や地域に対する継続的な教育は必須であると感じる。ただし、講習会、パンフレット、HPの充実化といったものは教育としての効果は低いのではないかと感じる(わざわざ講習会やパンフレット、HPの参加・閲覧をする人は少ないと思うため)。知識を広めていくためには、より多くの人に時間をかけず、効率的に教育する方法を考えるのが先決ではないかと感じる。(男性・18-29歳)
 - ・ 人権の侵害は違いを認められないことから生まれると思います。社会には背が高い人も低い人も、右利きの人も左利きの人も障がいのある人もない人もいます。自分はマイノリティーでなくて良かったと思うのではなくて、どうしてマイノリティーの人が困りながら生活しなければならないのか。それは変だと考える人の多い太田市になれば良いと思いますが、人の意識を変えることはとても難しいと思います。でも、あきらめてしまったら変わらないので、少しずつでも変えられるところから太田市の環境を変えていくことが大事だと思います。環境が変われば何故と疑問や関心を持つ人も増えると思います。よろしく願います。(女性・18-29歳)
 - ・ 人権問題に関しては、特に子どもの頃からの教育が大変重要なのではないかと考えます。国の方針もあるかと思いますが、太田市として、特に小・中校での教育を徹底して行っていただきたいと思います。未来ある子ども達を大切に。ところで女性差別とありますが、男性はないのでしょうか。(女性・50歳代)
 - ・ 人権問題に関する知識や情報を得るためには、キャンペーン等のイベントでは一部の興味ある方に偏ってしまうのではないかと考えます。子どもにだけ人権問題について考えさせるのではなく、大人の社会で正しい知識を身につけ、相手を尊重できるようになってほしいと願っています。また、広めてほしいと思います。(女性・50歳代)
 - ・ 人権問題に対しての発言には必ず責任と言う言葉が付いて来ます。言い放しでは今の政治家と同じになる。職員のみなさんも大変と思いますが、注意して、市民の皆がそれぞれ人権についての考えを持っていると思いますが、まず自分はどうな

のか良く考える必要があると思う。(男性・70歳代)

- ・ 人権問題の取組をどうやってやっているのか、ほとんどの人が知らないと思います。もっと大きく取り上げてもいいのかなと思います。(男性・40歳代)
- ・ 人権問題を取り上げなくて良い社会が来て欲しい。自分がやられて嫌なことは人にしないこと。自分が言われて嫌なことは人に言わないこと。幼稚園でも教えている大切な事です。そして相手が喜びそうなことを考えるだけで世の中は明るくなると思います。(女性・60歳代)
- ・ 人権理解のために開かれる演劇やコンサートなどは一部の興味、関わりのある人しか参加しないと思う。小さな頃からの教育(学校や家庭)が大切になると思う。大人になってから意識を変えるのは難しい。(女性・30歳代)
- ・ 全ての人が同じ方向を向くことはない為、できるだけ多くの人に考えてもらう機会を増やして欲しいと思います。なかなか興味をもてない場合が多々あるのではないかと思いますので、まずは興味をもってもらいたいことだと思いますが、難しいですね。人権についてテレビで特集などを目にしてはいますが、自分がどう思っているか見つめるいい機会になりました。(女性・50歳代)
- ・ 相談、支援体制の充実も大切ですが、一人一人の相手に対する言葉や行動だと思います。弱い人達に話しかけてください。周囲の人達も理解して下さい。(女性・60歳代)
- ・ 相談などでは、特に解決策も出ず、前に進まない。無駄な相談体制にお金をかけるのではなく、子どもへの教育に取り入れていった方がよいと思う。また、理解の足りない人への法的な取締りなど強制力のある対応が求められていると感じた。(男性・40歳代)
- ・ 太田市からの人権に関する情報展開が少ない気がします。広報・パンフレット等による情報発信を充実した方がよいと思います。(男性・40歳代)
- ・ 人の心が豊かならば、いろいろな問題はおきないと思います。みんなが幸せで楽しい生活が送れるといいですね。私自身、理想と現実とは全く違います。幸せになりたいです。(女性・50歳代)
- ・ 太田市が人権に関して何かやっているということをもっと知らなかった。広報を拡大させた方がよいと思います。(女性・30歳代)
- ・ 太田市に対してということではなく、日頃感じていることを書かせて頂きます。色々と頂立のあった同和問題、ハンセン病患者等について、考えることもあります。一人ひとり人の市民の生活の中で身近な人への人権感覚があるかどうか、今の私にとって最大の関心事です。障がいのある人の人権、同和地区の人の人権、色々ありますが、

人間が生を受け、みんな幸せに生きる権利があることを全ての人が理解するには、今の日本では学校教育でしか育てられないと思いますし、教員の感覚(日々の姿)が何より重要であると思います。ですが、小・中学生で学習したことがどこまで残るか疑問です。人権について考える機会をその都度のライフステージでつくるのが大切なのかもと思います。(女性・50歳代)

- ・ 大いに市で活動を行っているようであるが、その活動の実態をあまり感じられない。もっと市民が実感できるような具体的な活動を望む。(男性・60歳代)
- ・ 知識がない者で何をどう伝えたら良いのかもわかりません。ただ、人は皆、平等でありたいと思いますので、お願いするのみです(知識のある方の指導をお願いします。)(女性・70歳代)
- ・ 知識を広めるためには、自己参加型よりも義務教育中などに、強制参加型のほうがよいと思う。いじめや差別などを受ける人、虐待などを受けて悲しい思いや辛い思いをする人が一人でも減ってほしいです。(女性・18-29歳)
- ・ 特別に大々的に取り上げない事。静かな落ち着いた活動を望む。(男性・70歳代)
- ・ どういうことがあって、どんなに辛い思いをしてきたかを知らないから傷つけてしまうことが起きてしまったりするので、「自分で調べなければ一生知らない」ではなく、学校でもっともっと日本や世界で起きた辛い出来事を学んで、知識を身につけて、自分はどうか行動すればよいか、どうすればみんなが幸せに生きられる世界になれるのか、広い視野で考えて学ぶ場を作ってあげてほしい。(女性・40歳代)
- ・ 不公平を無くす。もっと大々的に情報を流す。(男性・70歳代)
- ・ 幅広い世代が理解できるよう、各世代に応じた人権教育対策を具体的かつわかりやすく行っていく必要がある。例えばアニメ、ドラマ仕立てなど。(女性・40歳代)
- ・ 幼稚園や保育園のうちから、差別や人権についての教育を強化し、正しい知識を身に付けられるようにした方が、将来的に思いやりのある行動が自然とできるようになると思う。(女性・40歳代)

その他の人権

- ・ こちらのアンケートではあまり触れられていませんでしたが、職場における人権問題をクローズアップすべきと考えます。大企業には相談窓口がありますが、中小企業、同族企業では組織内の自浄が期待できない場合があります。行政がもっと介入した方がよいと思います。(男性・30歳代)
- ・ コロナになってしまった人に対する意識が差別的でとても残念に思います。誰もががかってしま

う可能性があるのに、他人事のように、「〇〇の人がコロナだ」「〇〇の地区がコロナだ」とかそういうったうわさがたくさん飛び交っています。自分を守ることも大切ですが、かかってしまった人の立場で考えられるような人権を尊重してほしいです。人は一人では生きていけないと考えていきたいです。(女性・30歳代)

- ・ 回覧板などで、氏名、家族、住所などを書く(記入)するものが回ってきますが、見られたくない、知られたくない人もいるのではと、毎年思います。また、プライバシー的にもどうなのでしょう(回覧板だと他の人の目にもとまってしまうため)。(女性・40歳代)
- ・ 学校での人権教育、ジェンダーにまつわる教育を充実させてほしいです。(女性・18-29歳)
- ・ ご近所さんもいい人ですし、とてもいい所だと思います。人権問題は一概に難しいです。(女性・50歳代)
- ・ 北朝鮮拉致被害者を扱う実写映画「めぐみへの誓い」を上映する映画館は、県内ゼロ。隣の栃木県もゼロ。埼玉県川越市の映画館まで、県跨ぎせざるを得なかった。近隣地域のミニシアターへの働きかけが、行政からもできないものだろうか。(男性・50歳代)

市民サービス

- ・ いじめや差別を無くす事はできないと思う。そういった事は良くないと思っている自分も、差別的な考えを持っているし、特に SNS 等の顔の見えない発信では関係ない人へのバッシングがひどい。元をたつのが難しいので、弱者を支援してくれるサービスや相談窓口をわかりやすくし、気軽に利用できたらいいのではないかと思う。(女性・18-29歳)
- ・ 性差や国籍等による行政サービスの違いがないよう、職員の方達の教育や意識向上に努めていただきたい。(男性・40歳代)
- ・ 太田市のホームページを目にする事が少なく、誰もが見たくなるようなページにするなど工夫していただきたい。ネット社会の中、改善をしてほしい。老人から子どもも簡単にアクセスできる仕組み作り。(女性・30歳代)
- ・ 太田市職員の新人研修以外でも定期的に研修を実施して欲しい。(男性・60歳代)
- ・ 太田市役所の職員の方に感謝しています。どの窓口の方もとても親切でわかりやすく説明して下さいそうです。これからも親切で明るい市役所であってほしい。(男性・40歳代)

意識調査

- ・ こういう質問自体が人権の侵害につながるのではないかと考えます。(女性・70歳代)

・ このアンケートがどのような人権施策に反映されるのですか。市税を使い、アンケートを行い、その市税すら人権問題で悩んでいる人も支払っています。集計、分析すら税金がかかり、それは市民一人ひとりが支払っているもので(支払わず回収にもご苦労されていると思いますが)、いくら国や県が「アンケートを実施し、反映しなさい」と言っても当の太田市がやっつけ仕事で行っているは何も変わらないと思います。ご担当者の方は大変かと思いますが、常識の範囲で人と人の関わりが持てる様な地域づくりを行ってもらえれば幸いです。よろしくお願いします。(男性・40歳代)

・ このアンケートはスムーズに答えにくい形式だった。(男性・60歳代)

・ このような意識調査を積極的に行い、施策に反映させていこうとする行政を大いに支持します。また、調査への回答を通じ、自分の人権意識、身の回りの方々や勤務先、所属団体等の人権状況等、一個人としての意識を再確認する良い機会となり、このことは、市民の意識向上にも繋がることと思います。(男性・60歳代)

・ このような調査をやらなくてもよい、市民が差別のない社会、太田市にしてほしい。(男性・60歳代)

・ この調査が紙面上だけで終らず、集計・分析されたものが必ず市に反映されることを大いに期待します。(女性・50歳代)

・ この調査をしてどのように活用されるのか疑問。無駄な経費な気がします。(女性・18-29歳)

・ この調査を機会に人権について考えていきたいと思えます。ありがとうございます。1/2千人かもしれませんが、少しでも住み良い世の中が変わっていけばと願います。(男性・30歳代)

・ とても難しい問題で答えるのに悩みました。(女性・60歳代)

・ まず、男女平等について考えるなら、割合に関わらず、女性の人権だけでなく、男性の人権も平等に扱うべきだと感じました。市の人権問題に対する取組については、正直触れる機会があまりなかったので、ピンときませんでした。自ら足を運ぶものは興味のある人でないと行かないし、新聞をとっていなければ広報を見ることもないし、広報が公共施設に置いてあっても手に取る機会は少ない。興味のない人・触れる機会のない人に行動を起こさせることはとても難しいと思います。今回のように一般市民から広く意見を聞いて今後の施策に反映していただけることはとても良いことだと思います。また、人権被害にあわれた方からの意見も反映していただきたいです。市民全員に人権について考えてもらうには、様々なアプローチが必要だと思いますので素人だけでなく

専門家の知識も借りて取り組んでいただきたいです。(女性・30歳代)

- ・もう80歳過ぎているので、人権問題とかよくわからないです。読む事も大変でした。代筆しました。(男性・80歳以上)
- ・一般市民は特に意見は無いと思います。(女性・70歳代)
- ・何をもってこの質問をしているのですか。一般の人であれば大部分がこんな答えになるのでは。必要な対策は多くありますが、ほとんどが重要ではありませんか。こんなアンケートに時間をついやすのではなく、「これを始めました」、「次にこれを試してみました」による、良い、悪いアンケートの方がよほど良くないですか。人員削減の中、誰が指揮しているのか分かりませんが、効率良く取り組まないとムダな仕事だけで社員は疲れてしまい、本質の仕事ができなくなってしまうと思います。(女性・18-29歳)
- ・解答しましたが、あまり気にした事はありませんでした。(女性・60歳代)
- ・人権について今まで余り考える事もなかったが、質問事項等を読み改めて考えさせられました。住み良い国作り町作りをめざし、市の職員の方々には増々のご努力をお願い致します。(女性・70歳代)
- ・人権について特に深く考えたことがなく、こちらの冊子を頂き、この冊子を読ませてもらい、少し人権について改めて意識して考えていきたいと思いました。(女性・50歳代)
- ・人権問題は特に目に見えて改善されたというものではないので、今回のように調査をして意見をきいて地道に施策を進めていくしか方法がないですか。特に高齢者の中に差別、偏見をもつ方が多く、その人達の子どもにその考えが広がり、どんどん人権問題が広がるように思います。幼少期から正しい知識が身につくような教育と大人にも人権に対する正しい知識を理解してもらう機会が必要と考えます。差別はどこでもあるので、それに負けないようにする教育も必要だと思います。(女性・60歳代)
- ・設問が多過ぎて答える気力が湧きません。本気で人権について御考えであるのなら、回答する立場になって設問を御再考された方が宜しいかと思えます。(男性・40歳代)
- ・長い間、高齢者や障がい者に携わる仕事をしてまいりました。その中でたくさん人権を考えさせら

れてまいりました。自身もそのような状況の中にあり、情けなく、悔しい思いも数々です。このような調査を受けて、思いが伝わるかは不明ですが、この調査が人権問題の向上につながることを願います。(女性・70歳代)

- ・本調査はとても大切と思い、協力させていただきましたが、特に重要となるものを聞いていて、複数回答可だとどれも○をつけたくなくなります。○をつけないところを「大切だと思っていない」ととられてしまうという気持ちになります。選択肢も多く、ポイントをしばった方がいいのではと思います。もしくは、複数選ぶ場合は、「上位3つ」とした方が、市民が特に重要と思っているものが見えてくるのではないのでしょうか。googleフォームでも回答できるものと思います。回答率も上がるのではないのでしょうか。(男性・40歳代)

その他

- ・もっと子育てがしやすい環境になったらいいなと思います(金銭的、仕事の探しやすさ、安全面など)。(女性・18-29歳)
- ・今は中々時間が取りにくいし、コロナで出歩くのははばかれる様な状態ですが、私の様な年寄りにも何かボランティアでも参加出来る事が有れば役に立ちたいと考えます。(女性・60歳代)
- ・私個人としては、偏見や差別をしない様に心がけて生活しているつもりですが、気づかないうちに傷つけているかもと言う怖さがあります。(女性・60歳代)
- ・自分自身で決めることが大事。人に左右されないこと。(男性・50歳代)
- ・男女共に働きながら育児など両立できるような環境を整えてほしいです。(女性・30歳代)
- ・地域にそれぞれの神を祀っていること。宗教の自由は憲法で保証されているが、地域の祭りの際はそれが無視されている。何とかしてほしい。(男性・70歳代)
- ・働くママが多い(ほとんど)今の時代に、育成会の活動や旗持ちの活動は時代に合っていない。少子化の一因となっていると思う。旗持ちは、民間や役所で責任を持った組織で行ってほしい。小さな子どもを家にひとりで留守番させて、子どもにさみしい思いをさせてまで強制的に参加の育成会などの会議は、本当に子どものための活動なのではないでしょうか。(女性・40歳代)

4. 回答者の属性（問36）

問36 職業

あなたの現在のご職業は（「その他」の内容）

- ・ うちの店の仕事
- ・ 医療従事者
- ・ 薬剤師
- ・ 家事・農業
- ・ 介護福祉士
- ・ 警備員
- ・ 私学教員
- ・ 通所施設
- ・ 農業（2件）
- ・ 農業補助

Ⅱ 男女共同参画に関する市民意識調査

1. 男女平等について（問3）

問3 男女平等を阻んでいると思う要因

どのような要因が男女平等を阻んでいると思いますか。（「その他」の内容）

問2⑧で「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」の選択者のみ

- ・ 女性の自分達が優遇されてるのを分かってる事
- ・ 男なので女性がやってくれる事があれば助かる
- ・ 肉体労働の仕事は男性が必要だし、美容系は女性が必要だ。男女にはそれぞれ神様から与えられた良さがあるはず。西洋的女性が日本でも広がることは離婚率を上げる。もちろん仕事ができ、上司の器であれば女性も出世すべきと考えるが、女性であるだけで、という理由ならば、今、非常に男性が不利な社会と考える
- ・ 夫婦別姓が認められず、女性の姓を継承出来ない事が多い。婚因の疎害要因、もしくは少子化の一因でもあるので要改善
- ・ 女性を低く見る事ばかり注目され、それを盾に女性が男性を低く見る。女性が女性がと言っている時点で平等ではない
- ・ 本人の家庭内での育ち方、周囲との関わり、役まわり
- ・ 子育てや介護の後に戻れる職場が少ないこと、別の職場で1からになってしまう。8:00~17:00では家庭をもっているとハード。9:00~16:00位でも正社員になれると違ってくるのではないか
- ・ 主に高齢層の意識（男・女ともに）
- ・ 身体の仕組上の妊娠・出産の役割
- ・ 身体的能力差
- ・ 家長制度が現在も生活の場に語られる
- ・ 阻むのではなく、性別による資質では
- ・ 優劣をつけたがる人間が多い
- ・ 年寄りの昔からの考え方
- ・ 古来からの家長制度、儒教の教え、良い意味もちろんある
- ・ トランスジェンダー問題
- ・ 働きながら子育てする環境が整っていない。時短勤務の条件が現状厳しい。残業フルで働くことになったとき、続けていく自信がない
- ・ 親や家庭を見て育ってきて、それが普通と思い込んでいるのもあると思う
- ・ ジェンダーバイアスに気がついていない老人、特に権力者・経営者
- ・ 男性が女性から受けているセクハラ問題等
- ・ 女性登用を気にしすぎて本来管理職の適任ではない方が役職についていることがある
- ・ 賃金
- ・ 男性と女性で得意な分野、能力が異なるのに、男性基準の評価の考え方で物事が進んでいるから
- ・ 親になること
- ・ 産婦人科で母親学級はあるのに父親学級というものはない
- ・ こういった議論に男だから、女だからと性別を持ち出すこと。男性が軽く見られがち。女性だと問題になることが男性相手だと問題にならない
- ・ 女性一人より男性がいたほうがスムーズに事が進むし、トラブル等相手も受け入れやすい
- ・ 女性専用やレディースデイなども疑問に思う
- ・ 昇進・昇給
- ・ 入試で女子生徒より男子生徒を多く合格させること

2. 男女の仕事と生活への関わり方について（問5・6）

問5 仕事と家庭・地域活動との現在の関わり方

現在のあなたの、仕事と家庭・地域での活動の関わり方はどれにあたりますか。（「その他」の内容）

現在仕事をしている方のみ（問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く）

- ・ その時の状況によって
- ・ 家庭優先
- ・ 仕事を優先されているつもりは無いが、時に家族への協力が増えてしまう
- ・ 仕事と家庭のみ
- ・ 一人暮らしなのでどれも当てはまりません
- ・ 仕事・家庭のことでその他のことまで手がまわらず、地域活動はあまりできていない
- ・ 家庭生活のみ
- ・ 現役を退いている
- ・ 集合住宅なので地域の活動はほとんどない

問6 今後、男性が積極的に担っていくために必要だと思うこと

今後、男性が女性とともに家事・育児・介護・看護、地域活動などをより積極的に担っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ その時その時で必要なことをやればよい
- ・ 一人一人やってほしいこと、したいことが違うので話し合いが必要不可欠であり、その話の中で絶対に出てくるのが「お金」であると思います。情報提供や窓口もいいと思いますが、男女共に育児・家事ができるようにしたいなら、それが出来るくらいの手当てが必要なのは、お金があると余裕が出来るので
- ・ 家族の語らい
- ・ グループなどに参加できない人もいるので、市役所の人や役所の人が手をさしのべる（ボランティアの人達も）
- ・ 男性が時短勤務や育休をとり易い職場環境を作る
- ・ 根本的に、昔の考えをもっている人が多いので、若い人達がいかに変えていくか、教えていただいたほうがいいと思う
- ・ 仕事は卒業し、家庭がないのでわからない
- ・ 女性がかわいそうという思考は、男性たちの苦勞が理解されていない。男性たちはよくがんばっている。ということを女性が知る必要がある
- ・ 幼い頃から男女関係なく、家事や育児等の姿を大人が見せる事
- ・ 職場の理解が重要
- ・ 職場の環境
- ・ 介護・看護については、特に高齢化地区では、率先した学習機会を設けて、健康教育で介護の対象にならない様、指導する。また、そうなった場合に老々介護でも適切に出来る様指導をする。ソーシャルワーカーの充実をする
- ・ 育児と介護は男性にむかないと思うので、家事などの技能の学習機会や情報提供
- ・ 結婚する前に、取り決めをする
- ・ 日本人の空気感をつくる、そのためにあえて強制力のあるやり方も一考の価値あり
- ・ それぞれに生活はちがうのだから、実際私は一人暮らしだが仕事を寝る間もなくしていないと生活はなりたないのが現状。いつも優遇されるのは子どもとか、家族がいる人々だから、そんな余裕はない。やれる人がやればいい。男性が女性がと言っている事はナンセンスだ。個人のものの考え方、生活環境
- ・ 職場の理解と雰囲気
- ・ 妻の事をキッチンと考えていけば必然的に出来ると思います
- ・ 義務教育期間中に、男女とも基本的な家事をひとつおり実質的にこなせる位の技量を身につかせた方がいいと思う
- ・ 学校教育での指導が必要
- ・ 強制力と義務化
- ・ 職場環境の雰囲気づくりも大切だと思います
- ・ 基本、仕事は男性、家庭を守るのは女性。そうし

ないと未来の子ども達が危ないです。特に男の子達の真が弱くなっている。男（父）が強い存在でなければ日本はこわれると思う

- ・ やらねばならないことを性別という基準で分担しようとする風潮の撤廃
- ・ 職場の理解、協力
- ・ 職場で、家事・育児、介護、看護、地域活動より仕事のほうが大事でしょうと考えているのを変える（TVコマーシャルメッセージなどがす）
- ・ 女性が相談しやすい環境・窓口を設ける
- ・ 職場内の意識改革（上層部）
- ・ 仕事以外の時間をとることが可能になるための

給与アップ。短時間労働になり、給与が下がれば結局夫か妻が働かざるを得ない。家庭のことが手伝えなくなると思う

- ・ 女性の社会復帰のしやすさ
- ・ 会社側の理解
- ・ 生活基盤、賃金などの底上げ、労働時間を減らしでも十分生活できるような社会づくり
- ・ しなくてはならない状態にする
- ・ 男女間の社会での出世・収入格差をなくす
- ・ 支援してもやらない人はやらないと思う
- ・ それぞれのやり方でよいと思う

3. 就労について（問10・13・14・16）

問10 働くうえで感じる不安や困難

あなたは働くうえで不安や困難を感じていることがありますか。（「その他」の内容）

現在仕事をしている方のみ（問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く）

- ・ 60才で非正規になり収入が35%以上下がった
- ・ お給料が安い
- ・ 給料が少なく、未来が見えない
- ・ 給料が安い
- ・ 仕事上での加齢による体力の維持
- ・ 仕事に喜びを見いだせない
- ・ 選択肢にないが、表現しにくい
- ・ 定年
- ・ 天候による仕事の中止
- ・ 年齢により体力が低下している
- ・ パソコンがつかえないのが苦勞
- ・ パワハラ、モラハラ日常茶飯事、何人も退職者が出ている。自身も退職が決まっている
- ・ 有休がとれない、土曜出勤振替休日がない、休憩がとれない
- ・ 飲食店の仕事なのでこまかい気配りが必要なので、物事はなるべくいい方へと気持ちを持っていくようにしています
- ・ 期待されていない
- ・ 逆パワハラ
- ・ 休日を増やしてほしい。週休2日
- ・ 金銭的に余裕がなく、将来的に不安
- ・ 健康（2件）
- ・ 現在の仕事では、相応の柔軟性があるため、上記不安要因はありません
- ・ 仕事が忙しくて休みが取れない訳ではないが、職場の人数が少人数なので休みを取りづらい
- ・ 子どもが風邪を引いたときの仕事の休みをとりづらさ
- ・ 指導なのか、パワハラなのかわからない
- ・ 自営なので、これからの経済状況が不安です
- ・ 職場が遠い
- ・ 親会社から圧力を受けている
- ・ 身体的に痛む部位が多い為
- ・ 体力的にきつい事がある
- ・ 体力的に大変
- ・ 男がえらいと思っている
- ・ 同僚との人間関係
- ・ 妊娠中、生活費が必要
- ・ 年齢的なもの

問13 仕事を辞めた理由

仕事を辞めた理由は何ですか。(「その他」の内容)

問12で「辞めたことがある」の選択者のみ

- ・ (自己都合により) 物理的に通える距離でなくなった
- ・ ①自分の体調が悪くなるが多かったから、②有休がとれなかったから
- ・ 2度目の職場、販売業の為ノルマが高すぎた
- ・ Uターンの為
- ・ 身体が弱い
- ・ 身体を壊した
- ・ ケガの為
- ・ ケガをしたため
- ・ 結婚により地元に戻ったため
- ・ コロナにより出勤時間を制限され収入が減ったため
- ・ コロナによる失業
- ・ 上司と合わなかった
- ・ ストレス
- ・ ストレスで体調をくずした
- ・ ストレスによる健康問題があったため
- ・ 体調が悪くなったため
- ・ 体調不良
- ・ 定年退職
- ・ 定年退職のため
- ・ 転職
- ・ 配偶者の希望
- ・ バイトから就職したから
- ・ パワーハラスメント
- ・ パワハラ (2件)
- ・ パワハラ、セクハラ、暴力等多数
- ・ 引越し (2件)
- ・ 引越しで通勤に時間がかかるため
- ・ 病気 (3件)
- ・ ヘッドハンティングで転職
- ・ 他にやりたいことがあったから
- ・ 孫が小学校に入るため
- ・ マタニティーハラスメントを受けた
- ・ やりたいことがあった
- ・ やりたい仕事があった
- ・ より良い所へ
- ・ 療養のため
- ・ 労働時間が長く体調を崩した。過度のストレスによるうつになった (2件)
- ・ 引越した為
- ・ 介護業界に関わる為
- ・ 会社の都合によりやめさせられた
- ・ 会社都合なのに、自己都合として退職届を書かされた
- ・ 起業した
- ・ 給与面の不満
- ・ 結婚のため
- ・ 結婚のためやめた
- ・ 結婚の為転居したから
- ・ 結婚を機に
- ・ 健康上の都合
- ・ 健康上の問題で
- ・ 再婚のため
- ・ 仕事上のストレスなど
- ・ 子育てと介護が同時期
- ・ 事業収益の悪化による、早期退職に応じた
- ・ 事故
- ・ 事故で仕事が出来なかった (ケガの為)
- ・ 自営
- ・ 自分に合っていないと思いました
- ・ 自分自身健康上
- ・ 出産の為
- ・ 上司間の争いにまきこまれた
- ・ 職場がイヤになった、病気
- ・ 職場が遠い
- ・ 職場が合わなかった
- ・ 職場のいじめ
- ・ 職場の人と合わない
- ・ 職場の人間関係が嫌になった
- ・ 身体の調子が悪くなった為
- ・ 人間関係 (3件)
- ・ 精神的うつ
- ・ 先輩によるモラルハラスメントを受けた為
- ・ 祖父母の近くに引越すことになり辞めた (子育ての手助けをしてもらうため)
- ・ 他の仕事がしたくなった
- ・ 体の事を考えて
- ・ 体調の悪化
- ・ 体調不良 (3件)
- ・ 定年の為
- ・ 定年 (6件)
- ・ 定年でやめてまた数時間であるが同じ仕事をしている

- ・ 定年により
- ・ 定年退職（5件）
- ・ 転職（4件）
- ・ 独立
- ・ 妊娠したため
- ・ 派遣なので解雇がある、労災
- ・ 配偶者が自営をはじめたため
- ・ 病気・難病
- ・ 病気が長びいた
- ・ 病気になった
- ・ 病気になった為
- ・ 勉学のため
- ・ 留学に行くため

問14 女性が職業をもつことについて

あなたは、一般的に女性が職業をもつことについてどのように思いますか。（「その他」の内容）

- ・ 家庭環境が許すならば仕事を続けたほうがよい
- ・ 家庭環境によるのでどちらともいえない
- ・ 基本的に職業を持つ方がよい。子どもが生まれた場合は夫婦の収入を考慮していずれかが休職すべき。我が家は私（男）の方が収入が多いため、妻に休職していただく予定
- ・ ケースbyケース
- ・ 自由にしたらよい
- ・ 職業を持てる環境なら持った方がいいと思いますが、人によると思います
- ・ 女性だからというくくりではなく、能力と体力と本人を取り巻く環境や状況があれば、そして本人が望むのであれば、いつでも職業を持っていいと思う
- ・ 女性だからどうということではなく、その人の意思が尊重されるべき
- ・ 好きにすればよい
- ・ その時の環境に合わせて職に就くか就かないか決める
- ・ その人ができるなら子育てと両立して仕事をす。厳しいなら育児に専念。その人の能力に合わせて行う
- ・ その人の考え次第
- ・ その人の自由
- ・ その人の自由でよい
- ・ その人の自由意思
- ・ その人の人生設計によって職業をもつとよい
- ・ その人の夫婦の考えで良い
- ・ それぞれが自らの体力や考え方に応じて決めるべき
- ・ それぞれの家庭環境により違いが有るとは思います。女性が子育てしながら、職業を持つ事は社会参加で、その中で社会的経済のしくみなど経験からえる事は多く有るとは思いますので良いと思います
- ・ それぞれの自由、その人が考えて行動した事に意味がある
- ・ 男性と同じように扱うべき
- ・ 人それぞれ
- ・ 人それぞれだと思う
- ・ 本人の自由
- ・ もっている職業を継続出来る制度の確立や家族とのコミュニケーションを取って、何とか職業も継続出来る様努める
- ・ やりたいようにやるのが一番
- ・ やりたい事があるのならやればよい
- ・ よいことだと思う
- ・ 一人でいる人は職業をもち、子どもがいる人はもたない方がいいと思うが、生活が成り立つかどうか、個々の家の問題もあると思うので「これ」と言う考えはちがうと思う
- ・ 欧米のように夫が家事・子育てをちゃんと半分任してくれるのなら、女性だって仕事を家庭都合で考えるのではなく、やりたい仕事をやりたいだけ続けられるのが一般的になるとよい
- ・ 家庭の状況によりけり
- ・ 環境が整っていれば、働いた方が家計的に助かる
- ・ 希望する人が頑張れる仕組みや制度を充実すべき。ひとりひとり、望みが異なるので、可能性を残すべき。専業主婦を希望する女性が、逆に差別を受けないように配慮することも忘れないでほしい
- ・ 個々によってケースバイケース
- ・ 個人によるので、どちらでもよい
- ・ 個人の意志・事情による
- ・ 個人の意志を尊重したい
- ・ 個人の考え
- ・ 個人の自由（2件）
- ・ 個人の自由、本人が望むなら協力するべき
- ・ 仕事はした方がよい
- ・ 仕事をしたい人には働きやすい世の中がいいし、仕事をしなくても周りに関われる環境が欲しい

- と思う。人それぞれでいいと思う
- ・ 子どもが小さいうちは、仕事量を調整できると良い
 - ・ 子どもが生まれても職業を続ける方が良いと思うが、しっかりと子どもと向き合える環境が必要
 - ・ 子育てや家事が女性の仕事という意識の方が多く（特に男性）、仕事ができても急に家庭の事情で休んだりすると戦力外とみなされたり、重要な職務につけず、満足に仕事ができないのではと考えると、「子どもが生まれたら職業をやめ、大きくなったら再びもつ方がよい」の意見かなと思う。本来であれば男性も休みやすい職場環境を整え、夫婦で協力して家事子育てができるのが当然である
 - ・ 子供が生まれても、仕事続けられる環境があれば続けた方がよい
 - ・ 自分の好きにすればよい
 - ・ 自由に、自分のしたいように。周りがサポートすべき
 - ・ 自由にしたらよいと思う
 - ・ 質問自体が変だと思えます。職業をもたないと生活費はもちろんです。皆さん仕事なり何なりで社会と関わったりしたいと思っているのでは
 - ・ 収入面、社会的との関わりなど総合的に考えて職業を持てばいい。休職、転職を考える。行政、企業がサポートする
 - ・ 女性だからとか男性だからとか関係ない
 - ・ 女性の意思次第
 - ・ 女性の能力は高いので「子どもの有無に関係なく」仕事は続けて欲しい。この設問には異和感を感じます。そもそも「子どもが生まれたら」というところ。確かに生物学的には男は産めないでハンデがありますが、女性のみでは子どもは出来ません。子育てしながらも仕事出来る環境整備が必要
 - ・ 女性も職業をもつべきですが、妊娠後（出産）、続けるかどうかは個人の考えだと思います
 - ・ 女性自身の意見を尊重する
 - ・ 状況に合わせて。自分がしたいようにすればよい
 - ・ 職業をもちたい人はもち、結婚出産しても続けた人は続けられることがよい
 - ・ 職業をもちたい人はもてば良いし、もちたくない人はもたなくていいと思う。本人の思う通りが一番いいと思う
 - ・ 職業をもつ方がよい
 - ・ 職業を持つ方がいい
 - ・ 人それぞれ
 - ・ 人それぞれだと思う、男女平等という観点からみれば、女性一人一人の個人の意見を尊重するのが一番だと思う
 - ・ 人それぞれなので一概には言えない
 - ・ 人それぞれの考えがあるので仕事をするのもやめるのも人それぞれでよいと思う
 - ・ 人によってだが、続けられる社会環境は必要だと思う
 - ・ 人によって違うので、いちがいに言えない
 - ・ 人によって違うので一概に言えない
 - ・ 人によって環境が違うので一概に言えないが、育児を手伝ってくれる人が周囲にいる場合や、育児に関して織り合いが付き職場であるなら、子どもが生まれても職業を続ける方がよいと思う
 - ・ 人による
 - ・ 生活できるのであればどちらでもよい
 - ・ 男性が積極的に子育てに協力的になってくれれば本人の意志で続けられるし、専業主婦になりたいならそれもよし
 - ・ 当人の意思を尊重すべき
 - ・ 当人の考え方や事情によると思う
 - ・ 働きたかったら働く。生活に困ってなければ
 - ・ 能力があればどんどんすべき
 - ・ 配偶者を持った事がないのでわからない
 - ・ 夫の収入がよければ、子どもが大きくなってから働く方がよい
 - ・ 夫婦で相談して、特に決める事はない。金銭的な事、やりがい等いろいろだから
 - ・ 補助があれば続ける方がよい
 - ・ 本人の自由

問16 育児・介護休業制度を利用したことがない理由

育児・介護休業制度を利用したことがない理由は何ですか。（「その他」の内容）

育児・介護休業制度を利用したことがない方のみ（問15①または②で「知っている。利用したことがない」の選択者のみ）

- ・ 1人暮らし
- ・ いつ終わるかわからない介護、休みを取る事は考えず辞職した
- ・ うちの子どもの時は、この制度がなかった
- ・ 介護などは長い期間にわたるので、無理と思われるので辞めざるをえない
- ・ 学生
- ・ 子育ての時は専業主婦、介護の時も無職だったので利用する必要なし
- ・ 子育てやら、すべて終わっているので、利用した事はありません
- ・ 子どもが生まれた当時は制度がなかった
- ・ 子どもを産むとき働いていなかった
- ・ 自営業なので
- ・ 自営なので必要ない
- ・ 下の子が幼稚園に行き出してから仕事を始めた
- ・ 制度を利用する機会を得なかった
- ・ その時は仕事をしていなかった
- ・ どこに相談すれば良いのかわからない。只今看護中
- ・ 入社したばかり
- ・ 働いていない
- ・ 必要な時制度がなかった
- ・ 未婚
- ・ 私の時代にはなかった
- ・ 以前は制度が確立していなかった
- ・ 育休復帰後に夜遅くまで働けないため（午後10時まで営業している店だった）
- ・ 育児・介護の時代がちがう
- ・ 育児のため仕事を辞めた
- ・ 育児期間、要介護状態時は専業主婦であった為、制度を利用する必要がなかった（要介護状態時は退職した）
- ・ 育児休業の制度が無かった
- ・ 育児当時制度無し、要介護者なし
- ・ 引っ越しなどで職場が変わり利用する機会がなかった
- ・ 介護休業を申し出たが許可されなかった
- ・ 会社の協力で介護をしている
- ・ 勤めたばかりで休みがとれないし、パートにはない制度のため、職を転々とすることにつながる
- ・ 結婚を機にやめそのまま仕事に就かなかった
- ・ 現在いない
- ・ 個人経営では育児休業制度はまだなかった時代と思う。今でもないかも
- ・ 個人経営の小さな職場だったので制度そのものが無かった
- ・ 今のところ対応できている
- ・ 仕事をしていない
- ・ 仕事辞めて自由だったから
- ・ 私の時代にはなかった気がする
- ・ 自営
- ・ 自営なので
- ・ 自営をしている
- ・ 自営業だから
- ・ 自分で子育てしたかった
- ・ 取る必要がないから
- ・ 収入が大幅に減るので、生活は成り立つが、あまり使いたいとは思わなかった
- ・ 親の介護から年数がたっているので、その頃は介護休業はなかった
- ・ 退職後数年
- ・ 男性が休みを取る時代にはなく、育児は妻がしていました
- ・ 年齢的に必要性がない
- ・ 非正規なので対象外
- ・ 必要と思った事がなかった
- ・ 必要な時にその制度がなかった
- ・ 未だ育児や介護を必要としない生活
- ・ 無職なので利用しない
- ・ 利用するほどの労働条件ではなかったため
- ・ わからない
- ・ 70才なのでわからない

4. 地域での男女共同参画について（問17）

問17 地域活動での男女共同参画について

町内会、ボランティアなどの「地域活動」での男女共同参画についてどのように思いますか。
（「その他」の内容）

- ・ 私の地域は適材適所の印象が強い。役員は女性が多かったがお祭りには男性も参加していた
- ・ 町内会、ボランティアなどの人たちに何もかわっていない
- ・ 男女共に協力しあうことが良いと思う
- ・ ボランティアには興味があるが、もうできません。
- ・ 常に男性の補佐的存在
- ・ 面倒な事等女性がしてくれると助かる
- ・ 女性の参加が少ない。質問が偏向的である
- ・ 参加する必要ないから
- ・ 女性は、家事と仕事でそれ以外のしぼりを嫌がるようです
- ・ 具体的活動では、育成会などは女性がよくやってくれていました
- ・ 女性が積極的に活動している
- ・ 女性が役職をやりたがらない
- ・ ボランティアなくし、給与をだす
- ・ 町内会に参加したことがあるが、年齢層が高く、参加しづらかった
- ・ 知らない。何をもとめているのか不明。男性が、女性がと、ぐちぐち言っているようなら、いっそやめてしまえばいいと思いますよ
- ・ 地域活動に参加したことがない
- ・ 地域活動に努めてません
- ・ 男女共に同じくらい参加しています
- ・ 子供会では父親の参加が少なすぎる
- ・ 外国の世帯が全く協力してくれない
- ・ 地域における「男女共同参画」に関する「仕組みや意識」があまりにも低く、個人的に参画する意志があっても出来ていないのが実状と思われる
- ・ 正直、核家族で生活しているおうちが多いこの時代に、町内会、育成会に積極的に参加したいと思っている人は少ないと思う。昔と違い仕事を持っている母が増え、子育て、家事負担にさらに地域活動もなんてハードすぎる。必要性を感じられない。時間のありあまっている高齢の元気な方がやってくればそれでいい
- ・ コロナ禍で活動がない（現状はほとんどいない）
- ・ 比較的うまくいっている様に思う
- ・ あまり感じない
- ・ 女性の参加が少ない。昔からのしきたりもしくは習慣で女性は参加せず、男性が参加している
- ・ 結構多くの人が参加している
- ・ 積極的に参画したことがない
- ・ 老齢の方が多く若い世代があまり参加しないため、男女関係なく若い参加者に活動を押しつけがち
- ・ その家庭で男女どちらかが出ているので、男が多いとか女が多いとか特にない
- ・ やるだけで結果の報告がない

5. 女性に対する暴力の防止・被害者支援について(問19・20・23)

問19 DV 経験・身近で見聞き等の有無

ドメスティック・バイオレンス(DV)の被害者は多くの場合、女性です。
あなたはDVを経験したり身近で見聞きしたことがありますか。(「その他」の内容)

- ・ ながる、ける、ではなくて、言葉や態度で
- ・ 物を投げる、壊す
- ・ 生活費に影響が及んでいた
- ・ 家はおばあちゃんからおじいちゃんが常でした
- ・ 無視する、口をきかないなどの精神的にダメージを受けるDVもある
- ・ 感情的になり暴力を受けた事はある
- ・ 女性上位、かかあ天下の群馬であり得ない
- ・ 子どもの頃、親戚の女性がDVを受け、半年位、父が私達の家でかくまっていた
- ・ 知りあいの家族に被害にあった人がいる
- ・ DVに関する講座を受けた
- ・ 妻の知り合いが被害者と聞いたことがある
- ・ 父親から母親への暴力・暴言がやまない
- ・ 両親不仲で面前DVを20歳くらいまで受けていた

問20 配偶者や恋人等から受けた暴力について相談の有無

あなたは配偶者や恋人などから受けた暴力について、相談したことがありますか。
(「その他」の内容)

問19で「命の危険を感じる暴力を受けたことがある」「医師の治療が必要となる暴力を受けたことがある」「医師の治療は必要ないが暴力を頻繁に受けたことがある」「医師の治療は必要ないが暴力を何度か受けたことがある」の選択者のみ

- ・ 借金
- ・ おおごとになると家にいられなくなるから

問23 セクシュアル・ハラスメントが行われた場所

そのセクシュアル・ハラスメントはどこで行われましたか。(「その他」の内容)

問22で「自分自身に受けたことがある」「自分に身近な女性が受けたことがある」「自分に身近な男性が受けたことがある」の選択者のみ

- ・ 家庭で
- ・ 自宅
- ・ 義母
- ・ 道路上
- ・ 通りすがりの知らない人
- ・ 他の職場
- ・ 学生時代のアルバイト先でお客様から
- ・ 祖母から、祖父から

6. 男女共同参画社会の形成について（問24・25）

問24「女性が輝く社会」を実現するために太田市に望むこと

「女性が輝く社会」を実現していくために太田市に対してどのようなことを望みますか。
（「その他」の内容）

- ・ 企業に対しての支援
- ・ 子どもの学業支援をする（支援金など）ことで、性別に関わらず自由なキャリアマネジメントができるようになると思います
- ・ お互いたすけ合う気持ちを持つ事
- ・ 男性の意識改革
- ・ もう私等では卒業しているのでこれからの人達にまかせたい
- ・ 女性の美德を教える
- ・ 一人でも生活しやすい社会。高齢者でも働ける社会。生活費の安く住める環境
- ・ 女性社員の賃金 UP
- ・ その様な女性が出現し、太田市をリードする事
- ・ 育児休暇の安定
- ・ ①市会議員の男女割合 5:5 にする（女性が多い場合は尚よい）。市役所職員の男女割合 5:5 にする（女性が多い場合は尚よい）。市役所職員管理職の男女割合 5:5 にする（女性が多い場合は尚よい）
- ・ 地域社会での活動（特に女性が区長会への参画する）に対して、市は全く注視していないかもしくは、行動計画がない状態である。とにかく、市としての問題は、その実態調査や仕組みづくりが急務と思われる。さもなければ、本調査する「意味のない」ものと言える
- ・ もっと手軽にベビーシッターなど、生活をたすけてくれるサービスを利用できるようにしてほしい
- ・ もともとかかあ天下の群馬で育ってきた。幼少時より女性をたてて男性は皆生きてきた。別にやる必要はない。女性にとって理想の土地ではないでしょうか。マスオさんがものすごく多いのに、他の地方の人は皆びっくりしてます
- ・ 女子大学の設立
- ・ 子どもの預かり場所の充実
- ・ 母子家庭（シングルマザー）が使える手当、支援
- ・ 職場で子どもの用事で気がねなく早退自由制度確立（子が18才（高卒まで OK とか）。もちろん年齢制退を設けたうえで
- ・ 市政での女性活やく
- ・ 女性にも期待する風潮づくり
- ・ 男と等しく扱え
- ・ 夫婦別姓の導入
- ・ 男性、女性は区別しない。例えば履歴書に写真や性別の記入欄をなくすべきだ。採用時に男性50%、女性50%と考えることが性別軽視になっており、性別を考えずに優秀な人を採用した結果、いずれかの性別に偏るのであれば問題ないと考ええる。割合が少ない性別の人は勉強頑張ってくださいとなるだけなので。
- ・ 男性の家庭への参画を進め、仕事と家庭の両立支援
- ・ 金銭的支援
- ・ 男性の育休取得
- ・ 特にない

問25 「男女共同参画社会」実現のために太田市に望むこと

「男女共同参画社会」を実現していくために、太田市に対してどのようなことを望みますか。
ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

記述内容を主なキーワード別に読み分けました。

男女共同参画社会全般

- ・「共同参画」を単に男女の比率で判断する、または比率を目標とする事はいかがと思う。その人の正当な評価の結果としての数値や人選であってほしい。オリンピックの人選では「まず女性」「とりあえず女性」の様に見えるが。子ども達への教育と制度の改善が大事なのではないか。(女性・60歳代)
- ・「男女共同参画」と言う言葉を変えてみては、『男』『女』の性別だけでは多様性を受け入れられないのではないのでしょうか。子どもや学生に支援をし、それぞれの年代の人達が社会と関わりを持てる場所を作って頂きたいです。(男性・30歳代)
- ・「男女共同参画社会」の事をよく知らないのですが、どのような事を望むか分からないが、男性も女性もあらゆる分野で活躍できるためにも、太田市は子育て支援に他の市よりも力を入れているので良いと思う。やはり、出産した女性にとって子育て支援など制度が豊富な方が社会で活躍できるのでとても良いと感じている。(女性・30歳代)
- ・「男女共同参画社会」の実現には、まだ少し時間がかかりそうですが、機会を見つけ(教育の場を含む)、その理念を伝えていったらよいのではないのでしょうか。(女性・70歳代)
- ・①組織拡充。②PR活動を推進する。(男性・70歳代)
- ・がんばって下さい。(男性・50歳代)
- ・すべての市民の皆さんが心安らかに生活出来ますよう市長さんや職員の方々に頑張ってもらいますようよろしくお願い致します。(女性・70歳代)
- ・どんな法令を作ったとしても周知されなければ全く意味はない。逆に周知されたとしても相談する時間等が決まっていたら相談はできない。法令よりも何もしなくても手厚い応援をしていただきたい。全ての人平等に、今、必要なのはお金です。現金ではなく市として何を負担できるか、補填できるかを考えて欲しい。お金がないから働く、そして働くことで時間がなくなり、男性は家がない。女性に負担が全ていく、そういうスタイルです。何かを作るのではなく何もしなくてもサポートして下さい。(女性・50歳代)
- ・まだまだ男女差別があると思います。(女性・70歳代)
- ・もともとたぶん日本で一番女性をたてている県だと思う。幼少時より、女性をたてて男性は生きてきている。女性の行動を制限したり、何か意見を言えば大変なことになることを、皆男性は知っている。これは、自分も同じだが、女性を「しばる、行動制限する」という者自体がない。同級性にも尋ねたが、同じである。だから、今更、そんなことは必要ないと思う。もう小さいときから充分にやっている。はっきり言えば九州がうらやましい。(男性・50歳代)
- ・一番いいのは「男女共同参画」が無くなることだと思います。男女平等、LGBTなんでもいいが、尊重できなくてこの企画が発足したと思うので、現在悩んでいる人への保障と共に、一人一人を大切にできる教育もしなければ根本的解決にならないと思います。男女に関わらずそれぞれの意見を尊重し、人の考えに耳を貸す、その上で自分の考えを持つことのできる機会が今の教育に必要だと考えています。そのうち「男女共同参画社会」があたりまえになる日が来ないと未来が無いですよね。長々と失礼しました。一意見なので悪しからず。(女性・18-29歳)
- ・何ごとも自分自身の事を思い、相手の事を思いやる気持ちを持って行動する事だと思います。(女性・60歳代)
- ・家庭それぞれ違う為いちがいにはわからない。(男性・70歳代)
- ・個人(人間)として、自分らしく生きて行けるような社会になってほしいと思います。(女性・70歳代)
- ・最近多くなってきている男女共学(高校)を増やす。女性のリーダー(管理職)が少ない。女性の進出を増す(議員)。男女交流の行事の新しい情報がほしい。(男性・60歳代)
- ・女性の活躍のテレビ番組をみました。1960年代、あるいはそれ以前に、日本女性が世界コンテストで一位になったり、女子野球チーム等々ありましたが、60年たち元にもどってしまっている。男女平等機会均等法を順守すべきだ。女性が活躍出来る場、能力を評価すべきだ。(男性・60歳代)
- ・子育ての負担をやわらげるサービスがほしいです。男女共同参画が男女の平等のためのものであるのはわかるのですが、女性の立場をあげるだけじゃなくて、性別という区分にとらわれず、1人1人にスポットライトをあててほしいです。身体

- 的区別（トイレなど）はもちろんしますが、1人1人が得意なこと、好きなことに基づいて社会で輝けるとよいと思います。（女性・18-29歳）
- ・ 私達の時代の男性は（内の主人）女なんか人間ではないと言う様なことをよく言葉にしました。私は反発して何故そんなことを言うのかと争ったものです。優秀な調理人も仕立屋も皆男だと言うのです。娘と言いついていました。世の中の決めるは大体男が作っていて、男の都合のいいように出来ているだから男が威張っているのだと言われても小さい頃からそういう環境で育って来た男には通じずじまいでした。最近の男性はその辺りがとても柔軟で見えて心地良い気がします。男女関係無くお互い補い合って仲良く生きる世の中にしたいいものです。（女性・80歳以上）
 - ・ 実現していくためにと何年もかかっている。強硬手段をとらないと進まないと思います。女性市長、市会議員全員女性、市役所職員全員女性、極端な意見かもしれませんが、逆（男性主導）できたので、現在に至っているのです、そこを変えない限り変わらないと思います。女性が大切にされる社会になりますよう期待しています。（女性・40歳代）
 - ・ 出産・子育てに関する制度の充実。（女性・18-29歳）
 - ・ 女性が輝く社会という言葉に違和感があります。今の社会は男性が輝いているから女性も輝くようにしようという意味でしょうか。「輝く」の意味がよく分かりません。（女性・40歳代）
 - ・ 女性女性と言われるが、本来の実力をもって判断すれば良いこと。世論や一部のマスコミに影響されすぎ。ある目的や目標に際して、男女の区別を鮮明にする事そのものがおかしいのではないですか。（男性・70歳代）
 - ・ 色々な施設のトイレに男性用トイレにもおむつ替え台や座らせておけるイスの設置お願いしたい。（女性・18-29歳）
 - ・ 性差でなく、個々人の能力によって社会的役割分担が成り立つ世であってほしいと思います。日本の国は、歴史的に、男性優位の社会が継続してきました。女性は裏方で支えるものという位置づけでした。これからは、女性だからという枠を外して、社会で望む役割を果たしていけるよう制度や慣習を改めてほしいものです。世界的ランクが低いことは恥ずかしいと思います。（女性・70歳代）
 - ・ 選択的夫婦別姓を可能にする法律（立法）への働きかけ。育児、介護休業、離職から再就職までの支援。社会のしきたりによる男女の不平等について一人一人が気付き変えて行けるような支援をする（学校・職場などで考え合ったり、社会が情報を受け取りやすくする）。（女性・60歳代）
 - ・ 太田市が積極的に取り組み、他の市町村の参考になれる様頑張ってください。期待しています。（女性・70歳代）
 - ・ 太田市ではなく国単位なのではと思いますが、夫婦別姓を望みます。基本女性が姓を変えるシステムが不便。離婚した場合結婚時と離婚時に各書類の変更申請に無駄な時間と手間がかかる。お金もパスポートから運転免許、車の名義変更、銀行印鑑等、この状況から見ても男性の方が優遇されていると証明ができる。（女性・40歳代）
 - ・ 太田市として夫婦別姓を取り入れてほしい（必要だと思います）。（男性・60歳代）
 - ・ 男・女と区分する用語に疑問。LGBT。適材・適所。（男性・70歳代）
 - ・ 男に子どもを産めと云ってもムリ。自然が一番。何でもできる人がやればいい。（男性・80歳以上）
 - ・ 男女共同参画社会という事が当たり前の中になっていく事を望みます。（女性・50歳代）
 - ・ 男女共同参画社会とはどういう事なのだろうか。例えば男性が育児休暇を取得する時期について、私の意見を述べさせて頂きたいと思います。生後間もない頃、男性が育児休暇を取得して何が出来るだろうか。生後数ヶ月間、赤ちゃんは母親の母乳を飲み・寝るを繰り返します。その時期に父親が家にいたとしたら、母親の負担は増す一方と考える。食事の支度がその一部である。赤ちゃんと2人の生活であれば、母親は赤ちゃんが寝ている間、休息を取る事が可能だが、父親が家にいる事により負担が増すと考える。男性が育児休暇を取得する時期については生後～1年位の期間を設け、個々の家庭において相談後取得可能ならば有意義であると考え。次に男性の家庭での家事などへの参加についてである。まず、男性の意識改革が必要と考える。家事全搬は女性の仕事という古き悪しき習慣を正すべきと思う。古き悪しき習慣を持つ家庭で育てられた子どもは、父親と同じような考えを持ち、育つ可能性が高いと思うからである。我々が育った時代は女性の大学進学率は現代とは比較にならない程低いだろう。女性が大学へ進学し、資格等を取得し、社会進出が進む一方で、家庭は女性の仕事という思想を持つ男性と結婚したとするならば、女性は退職せざるをえないだろう。何てもったいない話であろうと思う。この様な事から男性の協力は必要不可欠であると考え。以上の事は私一個人の考えであり、現代社会とマッチングしているかは不明である。しかし、せっかくこの様な機会を頂けたので、一部ではあるが書かせて頂きました。この様な機会を頂けて有難く思います。（女性・50歳代）
 - ・ 男女共同参画社会の取り組みは、アンケートを見た限りではかなり幅広い感じなので、もう少し内容を絞って優先順位を付けて確実に進んでいく必要があると思います。また、家事や育児への男性の協力はかなり増えて来ていると思いますが、

夫婦間で決める事なので、行政は別の事にもっと力を注いで欲しいです。あまり関係は無い話にはなりますが、未婚の男女が多いのは出会いの場が少ない事も大きく影響していると思うので、行政で出会いの場の提供をして欲しいと思います。未婚の人がこれ以上増加すると、身寄りの無い老人だらけになってしまい経済が破綻します。(男性・30歳代)

- ・男女平等に出来る仕事が多くなって来た時代に成って来たので、男女平等に実現してほしい。(男性・70歳代)
- ・男尊女卑はいまだにあると思うけれど、仕方がない事も(男女不平等)沢山あって、男性からしたら女性が優遇されていると思う方も多くいると思う。女性の政治参加も増えて女性の立場が色々な場面で改善していけたらいいと思います。どんな性別、状況の方でも住みやすい町になるとうれしいです。(女性・30歳代)
- ・表面上だけを見るだけでなく、市民のひとりひとり、多くの人に目を向けてほしい。どんな命も大切にできるような太田市になってほしい。(女性・40歳代)
- ・平等という言葉は、男女の体のつくりや体力差などを考慮せずに、男女同一に扱うことであり、男のための〇〇、女のための〇〇といった考えがある時点で男女平等という考え方は難しいと考えている。男女差を考慮した上で進めるのであれば、公平という言葉を使うべき。社会進出(仕事をする上で)に対して女性の割合を増やしたいというのであれば、仕事の能力に関係ない顔(写真)、年齢等を問わない社会づくりにしていくべき。(男性・18-29歳)
- ・本調査の問1に「役割の固定化」に対する意識が問われている。私は「どちらかと言えば賛同する」とした。男女共同参画を進める事は大切なことであり、基本的に異論は無いが、特に固定化はいけないと考えるが、同時に「向き・不向き」「得手・不得手」「適材・適所」の価値観も重要である。これらのバランスを考慮いただきたい。(男性・60歳代)
- ・明るく元気な女性が増えると家庭も明るくなります。家庭が明るくなると、その地域も明るくなると思います。太田市の男女共同参画社会の実現に向けた施策推進、応援したいです。(女性・30歳代)

就労・職場

- ・(市長)市議会議員の女性が少ない事が大きな問題。また、市役所幹部の女性リーダーを育てる事が重要。市役所職員の意識改革。(男性・50歳代)
- ・「男女共同参画社会」などと言っていますが、女性、男性問わず、良心や、常識の有る者を上位にする

場合は良いですが、ただ年功のみで上にし、私は若いころ、女性の上司に、職員全員の前で謝罪させられたり、新人が入社しても1ヶ月で退職したりその様な人物を上位にしていた企業にいました。男性に怒られるのは良いですが、女性に頭ごなしに。女性の社会参画は良いですが「人材」によります。(男性・50歳代)

- ・雇用を生んだり人口が増えたりする中で、男女ともに活躍できる環境を作っていけたら良いですね。男性も女性も同じ立場、同一賃金と色々均一にする事項は多いですが、感じ方・考え方の違いはそれぞれなので、無理して平等にする事はないかと思ってます。むしろ「男」「女」のではなく個人で考えるべきなのでは。(女性・30歳代)
- ・パート、社員等、職場の労働条件を整えたいうえで検討してほしいです。(女性・40歳代)
- ・みんなで働いて良い群馬、太田になっていただけたらよいと思います。(男性・70歳代)
- ・議員の女性が少なすぎ、女性管理職も少なすぎ。(女性・40歳代)
- ・業種に関わらず、男女共同立立場ならば同じ仕事が出来ると望ましいと思う。(男性・30歳代)
- ・今までの男性の社会に、女性が同じ様に入りこんで活動するには、それだけの覚悟が必要だと思います。男女の比で仕事出来る訳ではありません。優秀な女性は上位に立っても問題はない筈です。男だから優位、そんな時代ではありません。少なくとも、女性だからと、それを売りにするのは困ります。仕事に性差別を付けるべきではありません。共に力のある者が上に出て活動すべきと思います。(男性・80歳以上)
- ・子育て支援。金銭的・制度的含めて、妊娠出産という女性のための理由で仕事上、生活上不利になることが少しでも少なくなるようになるとういと思う。(女性・18-29歳)
- ・市役所職員の女性定数の向上と市議会に女性の占める割合を向上させる努力。女性副市長の任命。(男性・60歳代)
- ・私が働いていた頃は、ただ働く場所があれば良いと言う考えで、働く条件を良くして欲しいとか考えた事はありませんでした。何の資格も持っていなかったから当然だったのかも知れません。これからの女性は資格を持っている人が多くなっていくのかも知れません。その様な人が何らかの事情で一担やめたとしても、その人が真面目で、人柄の良い人だったら、再度就職できる様に。もしかして、私が知らないだけかも知れませんが。私はけっこう長い年月働いて来て、色々な事を教えて頂き楽しかった、パートタイマーで、色々な仕事を経験しましたが、大変だったと言うより、楽しかったと言う思いが強いです。こう言う事がき

- っかけで女性は、外に一步・二歩と出られるのではないのでしょうか。(女性・70歳代)
- ・収入差が無くならないと平等にできない。(男性・50歳代)
 - ・女性が気がねなく働ける環境づくり。(男性・40歳代)
 - ・女性が今まで以上に働きやすい職場が増えていくと良いと思います。例えば、短時間勤務でもOKとか、出退勤が募集される8時間勤務ではなく、6時間勤務の職場があったり。(女性・50歳代)
 - ・女性が働く為には、会社地域の理解が一番大事だと思います。働きやすい社会を望みます。(女性・60歳代)
 - ・女性に気を使いすぎて働きにくくなっている。女性も男性も。ほどよく平等に。ちょうどよく。(男性・18-29歳)
 - ・女性の働き口の拡大、雇用機会を増やす為の策。育児への(家庭)給付金を増やす。地域の特色で、工場が多い為、男女の平等化は難しいと思われる。(男性・30歳代)
 - ・女性は力や出産等、男性とは体のつくりや能力が異なるため、同じ土俵での評価の仕方では平等を考へるには無理があると思う。女性の特徴を考慮した上で、女性が働きやすい環境づくり、評価の方法を考えていくべきだと思う。例えば、女性は出産等で仕事からどうしても離れる時が出てくる。仕事から離れてしまうから評価や待遇が低くなってしまふのではなく、離れる時期があるのが当たり前であり、それによって評価を下げるのではない社会づくりが大切だと思う。(女性・18-29歳)
 - ・女性起業支援。(男性・40歳代)
 - ・職場において、女性だからという理由で役職に就いてほしくありません。優秀な人が自然とふさわしい役職に就けるような職場・社会になってほしいです。(男性・40歳代)
 - ・男とか女とか区別しないで適任者に仕事をして頂きたい。(女性・80歳以上)
 - ・男女共に休暇のとりやすい職場環境を整える。昔ながらの慣習を見直す努力。若手社員の育成(男女の意識のない柔軟な考え方を取り入れられる)。(女性・30歳代)
 - ・男女平等と言っても、男性にしかできない事、女性にしかできない事等、やはりあると思うので、一概には言えないと思います。(男性・60歳代)
 - ・年齢とわず仕事がしたいです。(女性・80歳以上)

ワーク・ライフ・バランス

- ・産後の仕事を考えると、とても不安です。女性が安心して、出産、子育て、社会復帰ができるよう

になるといいなと思います。(女性・30歳代)

- ・スポーツに力を入れているのが太田市のポイントだと思っています。ぜひ女性アスリートの育成も力を入れてください。子どもへの支援充実させたら、親世代の負担も減らせるし、10年後20年後の社会もよくなると思います。共働きの親を見て育ったので、どうにか助けてほしかった。(男性・18-29歳)
- ・どんな職業でも出産して一年間は休業保障をして下さい。(女性・70歳代)
- ・もっと女性が働きやすい職場を増やしてほしい。子どもがいる女性でも働ける仕事を増やしてほしい。夜間保育や会社に託児所など創設また増やしてほしい。男性も育児休暇を取りやすい市・町にしてほしい。(女性・18-29歳)
- ・一般的に男女平等はまだまだだと思う。中小企業など、男性の育休や介護のための長い間の休みなどまだまだ認められていない。子育てや介護はまだ女性の役目という感じである。男性も、子育てや介護のために休みをとりやすくした方がいいと思う。保育園や介護施設などが少ないと思う。女性が働きたくても小さい子どもがいるとか、高齢者がいるなどで、なかなか働けない。今までよりは、介護施設などでできてきたが、介護が必要であってもなかなか入れないのが現実である。それでは、子ども、老人、家族みんなが倒れてしまい、家族全員が大変になってしまう。願望だが、できるだけ、保育園や介護施設など作ってもらい、住みやすい、生活しやすい太田市にしてほしい。そうすれば、男女平等にもなると思う。(女性・50歳代)
- ・家事や介護をする機械の開発と普及。(男性・40歳代)
- ・家事育児に関して、男性が育児休暇を取りにくい社会はまだ強く残っていると思います。また、育児に参加しにくい原因として、「家事育児をどうやったらいいかわからない」の声が多く、どうしても奥さん任せになってしまうとのこと。なので、男性向けの教室等があれば良いのかなと思います。(女性・18-29歳)
- ・家庭を持っている人は男女共同参画は難しいと思う。時差での仕事ができる仕事や社会、在宅勤務ができる仕事。(男性・50歳代)
- ・休日、夜間や急な用事ができた時などに、子どもまたは在宅で介護されている高齢者をすぐにスムーズに預かってもらえる場所とシステムが複数あるといいと思います。(女性・50歳代)
- ・共働きの夫婦、シングルマザー等の子育て支援、老親の介護、看護支援等、会社や社会全体で法律、制度を作って整えて行かないと男女共同参画(特に女性の社会進出)は進まないと思います。経済的な支援は特に必要と思います。(女性・70歳代)
- ・共働き世帯が増えている今、女性に全てを任せる

- のではなく、男性も家事、育児、介護等協力してほしい。初産夫婦や育児をしない男性には母親学級と同じく父親学級に参加して、子育てができるようになってもらいたい。夫婦でたまに話すのですが、男性は気軽に外出（夜、飲み会等）できるけど、子どもがいる女性は気軽に外出（夜）できないので、そういうところも含め男女同じ感じで生活できたらなと思います。（女性・18-29 歳）
- ・ 個人、年代による考え方の違いは大きくあると思います。育児を通して違う世代や環境の変化を少しでも知ることが出来、良かったと思います。女性、男性にかかわらず子育てがしやすい太田市であることが両立でき、心身共に豊かな生活を成り立たせてくれると思います。（女性・50 歳代）
 - ・ 子どもが小さくても安心して働けるように、就職の支援の場（気軽に参加できる）があるとうれしいです。（女性・40 歳代）
 - ・ 子どもの介護について、現在ほとんど女性が担っていることが多く、仕事をしていても心休まる時間はありません。女性が社会に出るという広い意味で、現在運営されている障がい児・者のサービスステーションなどの存続も、とても大切なものと考えます。せつかくの良い制度、なくならない事を切に願います。（女性・40 歳代）
 - ・ 子どもを生むこと、授乳することは、女性の特権である訳ですが、同時に出産・育児の2~3年間の仕事から離れる時間が、別の意味での社会活動仕事から離れる時間となり、一般的な会社でキャリアを継続するのは、難しくなるのではないのでしょうか。とすれば、子育てへの支援、0~5才児までの完全保育（仕事時間中）が太田市で100%出来るようになると良いと思います。24H保育所などもありかと思えます。（男性・60 歳代）
 - ・ 子育てをよりしやすい場であることを望みます。身近に公園や図書館など、子どもの居場所をもっと地域にあったらいいと思います。また両親が遠くにおり、なかなか頼れず、子育てに疲れた時にたよれる場所がありません。まだ子ども2人なのでなんとかやっていますが、これで3人、4人となるとぞっとします。保育園もよくして下さいますが、人数的にも金銭的にもさほど余裕がなく、心が痛みます。もっと子育てを地域で協力できるようになっていけたらと思います。子どもは宝なのですから。子どもが幸せになれる社会にもっともってなあって欲しいです。子育ては夫婦でするものと思いますが、仕事に疲れそうもいかない現実があるので子育てについて書かせてもらいました。結局どちらかが負担することになる。（女性・40 歳代）
 - ・ 子育て中の女性がもっと働きやすくなる様に相談できるように応援してほしいと思う。子育て中の人は働けないと言う雰囲気があると思う。まずは相談できれば良いと思う。（女性・70 歳代）
 - ・ 市に対する要望とは少し異なるかもしれませんが、社会全体として男性でも育休を取りやすくするなど、女性が社会進出するための努力だけでなく、男性が家庭にも力を入れやすくする必要もあると思います。女性が社会進出にくい原因には、やはり「女性は出産後に子育てのために仕事を離れる」というイメージが根付いていることもあるので、逆に「男女関わらず子育てのために仕事を離れることはある」という雰囲気づくりは大事だと思います。（男性・18-29 歳）
 - ・ 育休を十分に取らせていただき、久しぶりに職場復帰しました。初めは不安でいっぱいでしたが、いざ働き始めると、仕事と育児、家事と切り替えができ、とても充実した日々を送っています。今は子どもが未就学児のため、時短勤務ができていますが、小学生になるとフルタイムになるので、余裕がなくなり、子ども達に笑顔に接することができるのか不安です。時短勤務ができる世の中になれば良いのと思います。（女性・30 歳代）
 - ・ 自分が出産の時はおどされるような言葉を言われたりしながら産休に入りました。現在はゆっくり出産、育休がとれるようになったので良い方向には行っていると思いますが、まだまだ女性が仕事を持ちながら仕事をつづけるのは高いハードルだと思います。男性だからとできない育児、介護、看護はないと思います。これからの男性の生き方に望みを持ちたいです。（女性・60 歳代）
 - ・ 週休2日を制度にしてほしい。（男性・30 歳代）
 - ・ 出産で育休などを取得し、職場復帰した際、子どもの発熱などで休みが続いた際など正職からパートになることを勧められたりと、職場で正職で働くことは、周囲に迷惑がかかってしまうのではないかなど悩むことも多くあった。もう少し、子育てと仕事が女性も両立しやすい環境に変えていってほしい。仕事をしていると、地区の行事等の参加のため、仕事の休みをとらなくてはならない事が負担になることもあり、見直してほしい。（女性・40 歳代）
 - ・ 出産に伴い勤労できなくなることによる技能習熟の差。技能があるものが政治的に上位にくることの多い社会通念が男女平等を阻んでいる。（男性・30 歳代）
 - ・ 女性が進出しやすいように、もっと保育所などを多く利用出来るとよい。（女性・50 歳代）
 - ・ 女性が妊娠、出産、子育て、再就職とためらう事がなく、スムーズに出来る様に会社に配慮して頂きたい。（女性・50 歳代）
 - ・ 女性は介護をしながら仕事をする場合が多く、その場合、正社員ではなく、パートなど時間の都合が付きやすい仕事につくことが多いと思います。正社員として安定した仕事をしながら、介護をしていく事がむずかしいというより、不可能な気が

します。本人がそうしたいと思っても、会社や社会がそれを認めてくれる空気を持っていないと思います。それが変化すればよいと思います。(女性・40歳代)

- ・ 女性は産休、男性は育休が当たり前になる世の中になってほしい。(女性・18-29歳)
- ・ 女性は忙しすぎます。それには、子育て中の母親の負担を軽くしてあげて下さい。朝の登校時の旗持ちや下校時の子どもの見守り等、有料で高齢者に手伝ってもらったり。以前、伊勢崎で、子どもの下校時に、あちこちで見守りの人が立っているのを見かけました。また、子どもが熱を出した時など、母親が仕事を休まなくても良い様に、気軽に子どもを預けられる場所(家)があるといいですね。(女性・60歳代)
- ・ 小学校の「朝の旗振り」は母親が行っていることが多いが、仕事をしているのでものすごく負担である。他の地域ではシルバーの方々が旗振りを行っている自治体があると聞いたので、太田市もそうならば良いと思う。毎回、仕事を遅刻していくので職場に申し訳ないので、1年の半分位だけでも負担がなくなると助かる。(女性・30歳代)
- ・ 男が外へ出て生活の糧を得てきて、女が子を産み育て家庭を守る。これが長年続いてきた生活様式であり、これに基づいて個の生活からグループそして国家へと大集団になっても、基本的な生活様式は変わらないと思うが。男女共同参画社会の実現には、①男女の給料格差をなくす。②男女の職務の差をなくす。女性にお茶汲み、コピーなどをさせない。③出産退職させない。定年まで働くよう勧告。④子連れ出勤を許す。保育所へ入るまで。⑤女職員の連れ合いを役所へ呼び、教育(育休を取る等お願い)する。⑥役職に積極的に就ける。(男性・80歳以上)
- ・ 男性が育休をとったら、会社だけでなく、太田市も給付をしてくれたら嬉しい。(女性・18-29歳)
- ・ 男性が家事・育児に参加することへの理解をコロナで家にいる機会の増えた今、より深めてほしい(制度をたくさん広めてほしい)。例えばノルマみたいなのを職場などで設ける。(女性・18-29歳)
- ・ 男性と女性では本来、生まれた時から、生きる使命がちがうと思います。以前は、男は、男らしく強く、女性は、女らしく、やさしくと、持ち味がちがって当然だと思いますが、時代とともに、環境も、社会的構造も大きく変化してきました。地域によっても多少ちがいは有ると思いますが、太田市は、工場の町として発展してきた町だと思いますので、何となく男性中心の勢いの有る町かなと感じます。でも数年前から、子育てするには太田市はいいねという声を何度か耳にしました。これからの時代は、共助の心が大切だと思います。男性だから出来る、女性だから出来る、出来ない事が

有って当然だと思います。太田市は、日本で一番住み良い町として発展する事を望みます。それぞれ立場は小さいですけど、協力出来る事は協力したいと思います。(女性・70歳代)

- ・ 男性に対する「仕事を休んでも家庭を大切にすることが必要」という共通認識が広がらないとムリだと思う。(男性・40歳代)
- ・ 男性の休暇普及をしてほしいです。(女性・18-29歳)
- ・ 男性よりも仕事ができる女性は沢山いるのに、それが正当に評価されないのは社会全体に対してもったいないと思う。育児休業を取らせることを会社に対して義務付けるような荒療治も一つの方法だと思う。育児休業を申請しづらい雰囲気はどうしても感じるし、いざ取得しても復帰後に周囲から嫌なプレッシャーがかかる。個人的には子育ては最優先だと考えているので、育児「休業」とまではいなくても、遅入社・早帰りを勤務先に義務付けたり、といった対応を行政からしてもらえると素晴らしい事だなとは思っています。(男性・30歳代)
- ・ 中学・高校の時、教師にこれからの女性は経済的自立をするようにと言われた。それを実現するには、出産・育児をどのようにのりこえていくかと言うことで、産休や育休、保育所や学童の充実が望まれる。(女性・70歳代)
- ・ 母子家庭や父子家庭は一人で子どもを育てて行かなければなりません。生活がかかっているのですから、仕事の紹介等、手厚い支援をお願い致します。(女性・70歳代)
- ・ 未婚であるが、将来子育てをした時に保育園がなかなか決まらなくて、仕事復帰が難しいという現実にならないで欲しい。ワーキングママが仕事復帰しやすい環境を整えて欲しい。(女性・18-29歳)
- ・ 問24(「女性が輝く社会」を実現するために太田市に望む支援)による、女性の再就職の機会増。生活や子育てを充実させるための収入を得やすい環境整備。(男性・40歳代)

DV・いじめ

- ・ 言葉の暴力、身体の暴力を受けている。主人は税金、食事代などを自身の年金で払い、酒を飲み、定年後からは働かないので毎日がビクビクして生活している。子ども達は成人し、結婚し、2人暮らし。どうしたらいいのか悩む。(女性・60歳代)
- ・ 偏見や暴力がない世の中になったらよいと思います。(男性・40歳代)
- ・ 暴力を受けたことがあるが、人様には言えなかった。(女性・70歳代)

性別役割分担意識

- ・お年寄りが多い地区なので、私の義母、父も嫁が介護するものという思いが強く、長男は家をつぐ等、根強いものがある。夫もそういう中で育っているので、家事などいっさいしない。その意識を変えてゆくには少しずつ時間をかけなければ難しいと考えている。若い世代に対しその上の年代の意識も変えなければ、農家、地方は変わらないと思う。(女性・50歳代)
- ・家事は女性がやるという固定概念が強いと思う。(女性・18-29歳)
- ・起業等の情報提供や支援を全面的にしてほしい。「女性は弱い、だまっている」などという考えを払拭してほしい。男性はこうである、女性はこうである、という固定観念をなくしていきたい。LGBTQについて理解を深めるべき。(女性・18-29歳)
- ・私達の若い頃には、女は家、男は仕事ということで育ってきて、私はとてもくやしい思いでした。今は男女関係なくしたいことが出きるすばらしい社会だと思います。若い子達がどうしたら男女平等に、仕事や育児に専念でき楽しい人生を送れるように考えてあげていただきたい。私が若い頃出来なかった事、今なら。皆様のご協力をお願いしたいと思っています。ちなみに、娘が男子生徒と堂々と話をしているのをみてショックでしたし、とてもうらやましかった。私は、今も男性は苦手です。(女性・70歳代)
- ・全体的に男性差別と感じる、結果誘導的な質問だと感じました。男性であればみな女性を差別している、という女性からの差別を感じました。もちろん女性が活躍することは応援し、とても嬉しいことだと考えます。ですが女性が女性の素晴らしさを捨て、男性にとってかわりたいというのは違うのではないかと考えます。男女は補完しあって素晴らしい社会になると考えます。なぜ育児はつまらない仕事と思うのでしょうか。子どもを愛し、育み、立派な大人として世のため人のためになっていただくことがなぜ夫の会社の仕事におとるのでしょうか。素晴らしい仕事だと思います。なぜ働く夫を献身的に支えるのが、悲しいことなのでしょう、それは夫がより多くの方のお役に立てる立派な内助の功です。どうして女性が男性と同じように収入を得、地位を得ないと気がすまないと考えるのでしょうか。母の愛とは偉大な力、仕事をなす日本の美学は大切だと思います。もちろんバリバリ働く女性がいてもいいと思います。理解のある夫もいると思います。ですが全体のバランスとしては、やはり男性は仕事で責任感を養い、女性は調和的に支える、つくすというのが大半ではないのでしょうか。(男性・30歳代)
- ・息子が孫のオムツ交換をする姿を見て驚きまし

た。私達の年代では女性が育児（特に汚れ物の処理は）をするものだと明らかに偏見を持っていたのです。しかし現在は夫婦が育児や家事を担うことは当り前の日常として捉える様になりました。つまりこの数年で若い人達に現実の家庭現場で教育してもらったのだと思います。従って、太田市の学校教育（小学校3~4年生くらい）で男女共同参画について教えてもらえれば自然に身に付くと考えますが如何でしょうか。(女性・60歳代)

- ・男はこう、女はこう、という固定概念をなくしていくよう努めていくと良いのでは。(男性・30歳代)
- ・男性の職場に務めた事がありますが、男女は生まれた時から、本質が異なるため（共同）という形は絶対に無理です。わかり合うと言う名称があつてると思います。お互いの役割を間違え、無理して共同参画を進めているように思います。今一度、男と女のあり方を正すべきだと思います。男は外へ出て働く、女は家庭を守るが、日本を守るために必要だと思います。子どもがこわれてきているため。子ども達がおきざりにされている（他人まかせ）。(女性・40歳代)

教育・啓発

- ・「男女共同参画社会」の言葉は社会に浸透していても、実感することはありません。自分達のこととして捉えるための情報もあまり目にしません。女性の意識がもっと高くなり、関心を持たない限り一部の社会のことで終わってしまいそうです。子どもの頃から「男女共同参画」「夫婦別姓」「ジェンダー」など理解できる情報や環境づくりが一番大切だと思います。家庭における身近な「男女共同参画」は重要です。(女性・60歳代)
- ・行政の取り組みが身近な部分に伝わって来ない。取り組みをもっとアピールしたり、セミナーとかやるのも良いと思う。(女性・40歳代)
- ・高等学校で男子校、女子校がありますよね、まず学校教育から見直しをしてみても。(女性・70歳代)
- ・市議会にクォーター制を導入する。小学校~高校の教育現場で、性別で分けない教育を推進する。公立高校の男女共学を県に提案する。男女別学がある限り「男女共同参画」という言葉はお題目に過ぎないと思う。(男性・60歳代)
- ・実現する為には、土台として幼少期からの意識づくり、育む側の意識改善等が必要。広報誌で、健康について解説するコラムがあったように、無意識の不平等を専門家に解説してもらおうなど、小さい事から根気よく継続する事が大切だと思う。1日に100項目はあるといわれる「名もなき家事」や、「ワンオペ育児」や介護など女性に負担が偏

っている現状を検証し、個々が活躍するための基礎作りにつなげてほしい。(女性・18-29歳)

- ・小さいうちから、男女差別をしない教育がなされ、家庭でも、大人自身が男女共に、仲良く暮らせる様な、制度や地域になるようになれば良いと思います。(女性・50歳代)
- ・小学生や中学生ぐらいからの教育が重要ではないかと考えます。(男性・40歳代)
- ・男女共同参画社会とは、太田市としてどの様に取り組み、目指しているか分かる様に広報などで知らせると、より浸透すると思います。認知不足の方が分かり易くなると思います。(男性・50歳代)
- ・年配の人達の意識を変えることは非常に難しいが、現在子育てをしている世代の変化は期待できると思う。(必要にせまられているので) 地域や学区毎に自由に集まって意見交換できる場を作ってもらえると良いと思う。(女性・50歳代)
- ・理想に近づける努力、考え方を変える。難しいと思いますが、近くの公民館や行政センターなどを利用し、子育ての悩み相談を夫婦で参加できるイベント(コロナで難しい)、夫婦で介護相談や仕事の悩みなど、地域でつながるネットワーク作り、SDGs活動参加等々太田市で発信する。ご苦労があると思いますが、太田市をよりよい住みやすい市になっていくことを期待します。(女性・50歳代)

地域

- ・核家族が多いこの時代に古いスタイルでの地域行事に参加義務がある事は負担です。何か新しい事を始めるならば古いものは削っていかないと、やらないとならない事が増えるばかりで余裕なしです。共同参画社会に参加したいと思えるような、行事のスリム化、高齢者の活用・男性の家庭参加時間の確保が必要かと思えます。朝パパ不在の家が小学校登校時間に下の子を連れての旗ふりできないルールあるの知ってますか。小さな子どもを家に残して旗ふりしてるの知ってますか。むしろこれが虐待にならないのですか。(女性・30歳代)
- ・「男女共同参画社会」を実現する為に、生活基盤である地域社会において、一つの確立を考えて頂きたい。その問題をクローズアップしたことが全くない。つまり、生活基盤である地域社会が物語っている。もちろん、女性区長を一人でも増やして行くにも多くの障がいがある。それを克服するには難問が多い訳だが、これらを克服してこそ、真の「男女共同参画社会」の実現と言えるのではないか。もちろん、これのみではないが。(男性・70歳代)
- ・地域活動の場所が町の中心部ばかりに作られて

いている気がします、もう少し、いろいろな地域に作ってほしいです。(女性・70歳代)

意識調査

- ・70~80歳以上の仕事をしていない人など調査しても無理ではないかと思えます。30~69歳の調査数を多くしたほうが良いと思います。今回はこんなアンケートはいらないです。(男性・70歳代)
- ・70才まで仕事していました。でも今はほとんど家に居ますのであまりわかりません。(女性・70歳代)
- ・このようなアンケートを取ることが、男女平等がすすんでいない、根付いていない証拠だと思えます。太田市は特に地方なので、男が仕事、女は家という考えが強いと思います。まず、太田市役所の中から、男女平等を実現し、地域の手本になるべきではないでしょうか。(女性・18-29歳)
- ・もっと分かりやすくしてほしい。(女性・50歳代)
- ・意識調査票が送られてきて、勉強不足の事が多くあり、改めて勉強をしなくてはと考えさせられました。(女性・70歳代)
- ・行政がアンケートを行う位ですから、良くなっていくことを期待しています。(男性・60歳代)
- ・市民意識調査票のアンケートを元に、太田市民の人達が住みよいように考えてもらえたらよろしいかと思えます。(女性・60歳代)

その他

- ・私は一人暮らしです。毎日が長い一日です。だれかが話し相手になってくれると一日が短くなるのでしようが、私は話し相手がほしいです。一人でいると、生きていてもいいのかなーと思いがら生きています。毎日が長いです。(女性・50歳代)
- ・障がい者が社会で生きやすい世の中にしてください。(男性・40歳代)
- ・誠に申し訳ありませんが今回の意識調査は現在の私の状況では平常心になれず、途中止める事になります。(男性・80歳以上)
- ・太田市の場合、男女共同参画社会より、外国人問題が先ではないのか。ゴミの問題や治安が大変心配。(女性・50歳代)
- ・難しいことです。男も女も我慢は必要。女の方がよく喋りますからね。かかあ天下の土地柄ですかね。群馬の男はかわいそうと思っています。何例か見えます。(女性・70歳代)
- ・平和で安全安心の街づくり。(男性・50歳代)
- ・未報酬の時間外勤務の強要の徹底排除。(男性・30歳代)

7. 回答者の属性（問28）

問28 職業

あなたの現在のご職業は（「その他」の内容）

- ・ NPO 法人所属の会員にて活動中
- ・ パート（会社）
- ・ 保育士
- ・ 家事と農業を体に合わせてしています
- ・ 農業
- ・ 顧問
- ・ 会社役員
- ・ 看護師（2件）
- ・ 看護職
- ・ 健康体操指導員
- ・ 自営業、飲食店、手伝い
- ・ 社会福祉作業所
- ・ バイト
- ・ 派遣
- ・ 派遣社員
- ・ 非正規社員

Ⅲ 人権・男女共同参画に関する企業意識調査

1. 回答企業の属性（問1・5・6）

問1 業種（主業）

- ・ 医療（6件）
- ・ 医療業（2件）
- ・ 自動車生産設備の保全

問5 求人方法（複数回答）

求人する場合、どのような方法で行っていますか。（「その他」の内容）

- ・ 当社HP
- ・ 自社HPの採用
- ・ ホームページ（2件）
- ・ 求人サイト（3件）
- ・ 関係団体を通じて
- ・ 求人誌（4件）
- ・ 求人情報紙
- ・ フリーペーパー
- ・ 教育実習生・保護者
- ・ 産業雇用安定センター（2件）
- ・ 実習生（2件）
- ・ 就職説明会
- ・ 学校
- ・ 専門学校
- ・ 専門学校へ求人
- ・ 大学、専門学校
- ・ 企業説明会
- ・ 面接会等
- ・ 検討中

問6 採用時に女性に対する特別の配慮（複数回答）

採用時に女性に対し特別の配慮を行っていますか。（「その他」の内容）

- ・ 子どもの行事などを優先してもらうようにしている
- ・ ほぼ全員が女性の職場
- ・ 元々女性が多いので特段の必要性を感じない
- ・ 女性が7.5割を占める職場
- ・ 基本的に女性中心の職種
- ・ もともと女性ばかりの職場
- ・ 女性が中心となる仕事の為
- ・ 全員女性です
- ・ 保育教諭のほとんどが女性のため質問がそぐわない
- ・ 元々、女性の職員が圧倒的に多い
- ・ 実習生は皆女性
- ・ 誰でもよいように思っている
- ・ 性別にこだわらず、スキル重視
- ・ 男女で意識はしていない
- ・ 採用にあたり男女の区別はしていない
- ・ 求職連絡があった場合、より詳しく仕事の内容について説明をし、面接を行う様にしている
- ・ 女性の採用は考えていない
- ・ 女性の採用無し
- ・ 女性採用なし
- ・ 事務系の仕事に限っていた
- ・ 保育士の場合、男性への配慮が必要
- ・ ぐんま女性活用大応援団登録
- ・ 女性が向いている職種、部門があるので、ある程度の割合を常に確保できている
- ・ ほとんどが女性社員なので男性に対して配慮しています
- ・ 面接に女性が来たことがない
- ・ 数年、男女ともに求人をしていない
- ・ 求人予定なし

2. 人権問題への取組について（問8～12）

問8 人権に関して特に関心がある事柄

人権に関する事柄で、貴社において、特に関心があることはどのようなことですか。
（「その他」の内容）

- ・ 公平性
- ・ 幼稚園で女性の教員が保育することを基本にしている
- ・ 職場では個々に合せて対応していく

問9 人権問題全般に関する取組状況

人権問題全般に関して、貴社においてどのような取組をしていますか。（「その他」の内容）

- ・ 細かい事の相談にのる
- ・ 就業規則に定めている範囲
- ・ 企業責任方針に職場環境確保とし、差別ハラスメントのない環境の確保を宣誓
- ・ 基本的な社訓あり
- ・ 社内は平等になっているので外国人も多くいます
- ・ 障がいのある幼児の受け入れ
- ・ 人権に対して考えた事はない
- ・ 全体朝令等、人権問題について話をする
- ・ 昼食を共にする、会社支給
- ・ 朝令の際話をする
- ・ 朝礼
- ・ 朝礼、ミーティング等での講話
- ・ 朝礼、会議などで「人間」の大切さを話している
- ・ 特にありませんが、個人的カウンセリング
- ・ 特に課題となっていない。情報が見やすくなれば取組を行いたい
- ・ 特別扱いしない
- ・ 無縁、差別意識がないので
- ・ 問題が発生した都度、対応している
- ・ 理にかなった公平な環境整備に努めている
- ・ 倫理綱領を設けている
- ・ 話し合い等
- ・ 特になし（5件）
- ・ なし（2件）
- ・ 取組はしていない（3件）
- ・ 何もしていない
- ・ 特にしていない
- ・ していない
- ・ 特に行っていない
- ・ 取組は行っていません
- ・ 現在は特に行っていない
- ・ 現状、特に何もしていない
- ・ 取別な取組はしていない
- ・ 特にしていない（2件）

問10 人権意識が高まることによる効果

社内の人権意識が高まることによってもたらされる効果について、どのようなものが考えられますか。（「その他」の内容）

- ・ 人権意識とは関係ない問題と考えています
- ・ 特になし（2件）
- ・ 人権人権と言うほうがおかしい
- ・ なし
- ・ グループ会社からの指導、指示等
- ・ わからない（2件）
- ・ 人権問題を特別意識するような格差が現状ない

問11 人権に関して今後取り組みたいこと

人権に関する取組の中で、貴社において、今後、取り組みたいことは何ですか。（「その他」の内容）

- ・ グループ会社からの情報、指示等
- ・ 上記（選択肢）の様な活動に参加しない
- ・ 月例時に
- ・ 現状のまま
- ・ 今後話し合いたいと思います
- ・ 事業所内研修の実施
- ・ 社員教育
- ・ 従業員との普段の対話の中で人権尊重について伝えている
- ・ 必要であれば掲示
- ・ 考えていない
- ・ 特になし（3件）
- ・ なし
- ・ わからない（3件）

問12 人権に関する取組をすすめるうえでの問題点

人権に関する取組をすすめるうえでの問題点は何か。（「その他」の内容）

- ・ 人権についての講師が分からない、見つけられない
- ・ 「人権」を強調すること
- ・ 力仕事＝男性の仕事という意識が日本では男女共にある、払拭されない
- ・ 時間がかかることと思います
- ・ 特になし
- ・ 何故企業での対応を求めるのかが不明
- ・ よくわからない

3. 障がい者雇用について（問13・14・15）

問13 「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく取組状況

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、事業主に対し、一定の割合以上の身体障がい者、知的障がい者又は精神障がい者の雇用を義務付けています。次のどれに該当しますか。（「その他」の内容）

- ・ 法律の内容はよく知らないが雇用している
- ・ 以前雇用したことがありましたが危険でした
- ・ 応募がいままでない
- ・ 機会がない
- ・ 雇用していたが退職してしまった
- ・ 法を理解していないが、過去に雇用したことはあります
- ・ 詳細がわからない
- ・ よくわからない（4件）
- ・ わからない

問14 職場定着・職業能力向上のための取組状況

職場定着・職業能力向上のために取組を行っていますか。（「その他」の内容）
障がい者を雇用している企業のみ

- ・ チームで業務を行っているので面倒を見る者が必ずいる
- ・ 能力が発揮できる仕事への配置
- ・ 障害者就業・生活支援センターの活用

問15 障がいのある方の就業機会拡大のための取組状況

障がいのある方の就業機会を拡大するために、どのような取組を行っていますか。（「その他」の内容）

- ・ サービスステーションの継続活動
- ・ ハローワークへ求人相談を予定
- ・ 車いすで入室できる状態にある
- ・ 該当する場合に検討

4. 性的マイノリティに関する取組について（問19・21）

問19 性的マイノリティに対する配慮や対応の取組状況

貴事業所において、性的マイノリティに対する配慮や対応を意図した取組をしていますか。
（「その他」の内容）

- ・ トイレの表示看板色分けを廃止した（青・赤から白へ）
- ・ この様な問題が起きてないので取組せず
- ・ よくわからない
- ・ 先を見すえて考えなくてはと実感している

問21 性的マイノリティに対する取組をすすめるうえでの問題点

性的マイノリティに関する取組をすすめるうえでの問題点は何ですか。（「その他」の内容）

- ・ 性的マイノリティであるか否かは問わないため
- ・ 人数が少なくなつたぶん今のところいないので
- ・ 特別取組をすすめる予定は今のところない
- ・ 特別扱いする事
- ・ 今後存在したら考える
- ・ 女性がいない
- ・ 何故取り組むかが不明
- ・ 取組未定
- ・ 申告してもらわないとわからない

5. 行政の人権問題への取組について（問22・23）

問22 人権が確立されたまちづくりのために行政が力を入れるべきこと

人権が確立されたまちづくりのため、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（「その他」の内容）

- ・ 教育が大事と思われま

問23 人権が確立されたまちづくりについて意見・要望

人権が確立されたまちづくりについて、ご意見・ご要望などがございましたら、自由にお書きください。(自由記述)

- ・ 様々な立場があることへの理解をし、声を上げやすい環境づくりが必要。「失言」とするのではなく、「理解を深める」ことが大切。
 - ・ 私たちが生かされ、活かされていることのありがたさに感謝し、もっともっと多くの市民の皆さんに啓蒙、啓発して行けたらいいですね。
 - ・ ぜひ推進してほしい。
 - ・ トランスジェンダーの方達が、「自分はそうである」と堂々と公表できるようになれば、人権が確立された町になったと思えるのではないのでしょうか。
 - ・ 人権とは、人間が生来持っている生命、自由、平等などに関する権利(広辞苑)とありますが、実体は全くと言っていいほど違っています。能力のあるものがいばっていたり、差別待遇があることを見たり聞いたりしています。私は、本来人間はすべてにおいて平等であるべきと思っております。人権とは実は非常にむずかしい問題であると思っております。
 - ・ 性的マイノリティに対しては徐々に理解者は増えていると思うが、理解をしていても受け入れにくいと思う人は少なからずいる。平時はまだしも、有事の際(震災や水害など避難を必要とする場合)にこういった問題が表面化しないまま人を傷つけると思う。もっともっと積極的に行政が動くべき。人権は小さな子どもにもあります。この部分もしっかりと行政の介入を。行政自体が一番に市民のために全ての人の人権(特に老人のQOL。運転免許を返納したら、市の中心部以外で生活している老人はQOLの確保はかなり難しい現実。生きる権利すら奪わないで(買物・通院等))を守るために何ができるのかしっかりと考えて下さい。
 - ・ 外国籍の方も含め、LGBTQの事を知らない人が多すぎます。サステイナブルな世界をつくるためには、人という労働力は必要です。差別などしていたらGDPが下がります。そのためにも啓発運動をするべきです。外国の文化や習慣を知れば、理解できなかった行動もわかるようになります。(LGBTQも同じく)ここにはありませんが、同和問題もまだ根が深いです。やるべき事、たくさんありますね。
 - ・ 当社は、少数者のためトランスジェンダーの方が今までいたことはありませんし、今もいませんが、そもそも取組を考えるだとかの前に「できる人は上げる」というのが当社ですので、年功序列、女性男性など壁はありません。「問19の11」(慶事休暇、家族手当の同性パートナーへの適用)に関して、国が法を変えない限り変えられません。同性の方と一緒に住んでいるといっても、それは異性と住んでも変わらないし、それに対して手当をつけるのはおかしいと思います。法律で同性婚が認められてパートナーとなるのであれば、もちろん手当をつけます。わざわざ取組をされて嫌と感じる方も中にはいらっしゃると思うので、質問の中にも逆に差別じゃないかというのもありました。この質問作ってる方々はトランスジェンダーの方入ってるんですか。
 - ・ 社会、組織が協調性をもって取り組む必要があると感じているが、実際、どのような対策をしたらいいのかわからない。取り組む仕方がわかりません。
 - ・ 若い人達は差別に対して意識が高いが、高齢者や中年はなかなか考え方を変えることが難しい。地域でもっと啓発に努めることが大事だと思う。
 - ・ 4年制大学を卒業した外国人を正社員として入社してもらおうとしましたが、入管が通過しませんでした(日本の大学)。国の法律が外国人を軽視しているように感じます。日本が好きで、勉強してきた学生をもう少し温かく受け入れをする国であってほしいと願います。
 - ・ そのような問題に出会った事がないのでよくわからないのが本音です。
 - ・ 日本特有の固定概念と思われる「力仕事は男性がするもの」「女性は事務職」などという考え方を男性も女性も払拭する必要があると考える。大企業でも小規模な企業や中小企業では、特に業務の多能性が人手不足の為必要となり、少人数で行う業務の幅が広がる。これによって、例えば事務職で入社しても現場作業含め従事できる人が必要になる。上記について入社前に説明すると、事務職のみを希望の方は入社辞退に至る場面が多い。
 - ・ 少人数の小さな会社であり、人権について特に考えた事はありません。男・女に差別をした事もなく、マイノリティに偏見もありません。性別は関係なく人間性を重視しています。
 - ・ 積極的に知らせるのではなく、知ってもらう為の施策等があればいいと思います。
 - ・ 性的マイノリティに対する配慮・対応について何も取り組んでいないので、今後に向けて配慮する必要があると思いました。
- 人権が確立される為には、幼小期からの教育は欠かせない。それと同時に、家庭においても相手の立ち場に立てる考えを持てるような「教え」を大切に、子育てをしていく事の重要性を芯にすえて欲しいと考えます。

6. 女性労働者の就労状況について（問25・26）

問25 女性管理職が少ない・いない理由

女性管理職が少ない（又はいない）のは、どのような理由ですか。（「その他」の内容）

問24①②③のいずれかで10%未満の企業のみ

- ・ 管理職実態が少ない職場
- ・ これ以上の人数が必要ではないため
- ・ 資格を持っていない
- ・ 職業柄女性から好まれない(会社側は女性OKでも)
- ・ 女子社員自体が少ない為
- ・ 女性が少ない（2件）
- ・ 女性が勤めていない
- ・ 女性が少ない（3名）
- ・ 女性の入社希望がない
- ・ 女性社員が少ない
- ・ 女性社員が極端に少ない
- ・ 女性社員が少ない
- ・ 女性従業員が少ない（2件）
- ・ 女性従業員が少ない
- ・ 積極的な配置は行っているが、係長相当職のみ10%に満たない
- ・ 選択肢の理由ではない
- ・ その役職がないため
- ・ そもそも管理職の制度がない
- ・ そもそも女性の従業員はいない
- ・ そもそも募集しても応募してこない。現場職のためか
- ・ それぞれ1人だけなので0%か100%かになる
- ・ たまたま
- ・ パートの為
- ・ パート職員が多い
- ・ 役員・部長相当職の女性の役職は社長です
- ・ よくわからない
- ・ 以前はいたが病気の為退職してしまった
- ・ 管理職がない
- ・ 管理職でも製品を運ばなければいけない仕事で、製品が大きいので女性では運べない
- ・ 管理職の枠がない
- ・ 経理等を行なってもらっております
- ・ 現在、職制までの適任者に該当する者がいないだけで、今後適任する予定
- ・ 考えは持っている。実行のタイミングは今ではない
- ・ 今のところ候補者なし
- ・ 在職人数が少ない
- ・ 事務員の方1名が女性の為、過去にも管理職となった方はいない
- ・ 事務職以外の女性従業員が少ない
- ・ 社員10名の為（役員含む）
- ・ 社員が少ない
- ・ 社員全員、役職は現在つけていない
- ・ 従業員数が少なく役職など関係ない。仕事が出来れば特に問題ないので
- ・ 縦割り組織では無い為
- ・ 女性登用に向け、育成を進めている
- ・ 小規模事業であるのでポストがない
- ・ 職業柄女性が少ない
- ・ 職种的に女性従業員が少ない
- ・ 全女性社員が少ない
- ・ 全体的に管理職の人数が少ない
- ・ 大企業ではないので
- ・ 役職を持つ人がいない
- ・ 零細企業のため現状で充分

問26 子育て等で退職した女性や母子家庭の母親の雇用の取組状況

子育て等で退職した女性や母子家庭の母親の雇用について取組をしていますか。(「その他」の内容)

- ・ お互いの希望する働き方がマッチすれば採用している
- ・ 基準はないが相談に応じ柔軟な勤務体制をとっている
- ・ 個別対応を柔軟に行うために制度化をあえてしていない
- ・ その時の状況による
- ・ 働ける、働く意思があるのならば雇用する
- ・ やる気と能力があれば問題なしなので
- ・ 育休後も積極的に復職してもらっている
- ・ 該当者なし
- ・ 各自の事情は常に聞いて対応している
- ・ 基準や制度はないが雇用している
- ・ 基準や制度は設けていないが、パートタイムでの雇用や残業無しでの雇用を行っている
- ・ 基準や制度は設けていないが、育休を取得し復帰している。母子家庭の母親の雇用をしている
- ・ 基準や制度は無いが雇用している
- ・ 既に雇用中
- ・ 個別に対応
- ・ 雇用している
- ・ 雇用をしていない(社員を増していない)
- ・ 子育て中だとか母子家庭だという事を気にした事はない
- ・ 子育て等で退職した女性はいないし、母子家庭の母親は雇用しているので現状維持している
- ・ 制度はないが、母子家庭多数在職
- ・ 制度はないが雇用している
- ・ 制度化していないが、すでに取り組んでいる
- ・ 積極的に採用している
- ・ 退職していない
- ・ 特に意識はしていないが普通に雇用している
- ・ 特に取組はしていないが、それ以外の人と同等に考えている
- ・ 必要な時は検討する

7. セクシュアル・ハラスメントに対する取組状況について (問27)

問27 セクシュアル・ハラスメントに対する取組状況

セクシュアル・ハラスメントに対する取組を何かしていますか。(「その他」の内容)

- ・ カメラの設置
- ・ 女性社員がない
- ・ 社外研修
- ・ 本社総務にて対応
- ・ グループ共通の相談窓口
- ・ 特に取組はしていません

8. 育児・介護両立支援について（問34・35）

問34 介護休業取得回数の制限

介護休業の取得回数に制限はありますか。（「その他」の内容）

介護糾合制度のある企業のみ（問33で1～6を選択した企業のみ）

- ・ 1人につき1年間に5日
- ・ 同一要介護者につき1年間5日を限度とする
- ・ 1年度につき5日間
- ・ 1人につき通算365日まで取得できる
- ・ 1人につき通算365日まで取得可（2件）
- ・ 相談に応じて
- ・ 延べ3ヶ月間の範囲で3回まで
- ・ 要介護者1人につき5日、2人以上10日
- ・ 検討中（2件）
- ・ 原則1回、特段の事情がある場合はこの限りでない
- ・ 状況により検討する
- ・ 都度協議
- ・ その都度相談
- ・ 特に定めなし
- ・ 特に問題がない

問35 ワーク・ライフ・バランスの取組状況

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について取り組んでいることがありますか。
（「その他」の内容）

- ・ 特別休暇の取り決めが広い
- ・ 小人数なので、今後取組を考える
- ・ 必要に応じて休暇は自由に取得できる環境
- ・ 有休休暇の取得推進
- ・ 最長7日連続の休暇取得制度
- ・ 短時間勤務、休暇自由、子育て者の遅早OK、子ども、家庭優先の会社、職場。「子どもは国の宝」
- ・ 地域活動、子どもの行事等は積極的に有休を使用してよい
- ・ 残業せずに済むように効率化を図る
- ・ 小学4年生以下の子ども1人に対し年間5日間の子育て支援休暇
- ・ 有給休暇取得の推進
- ・ 終業時刻前でも業務終了後は帰宅を認めている
- ・ 基本的に毎日ノー残業デー
- ・ ワクチン接種時の勤務時間内取扱開始等
- ・ 有休一斉計画付与日、年5日決めている
- ・ 各自の事情で対応している
- ・ その時に応じて対応している

9. 女性活躍推進法について（問36・37・38）

問36 女性活躍に向けた取組状況

女性の活躍に向けて推進している取組はありますか。（「その他」の内容）

- ・ ほぼ全員女性の職場
- ・ 状況に応じた配置
- ・ 実力のある人は評価します
- ・ トイレのリフォームを行った
- ・ 女性が得意とする分野は積極的にしてもらう
- ・ 女性が集まりづらい職種である
- ・ 女性をと考えず、男女平等に評価しています
- ・ 全員女性
- ・ 能力があれば女男問わない

問37 女性活躍推進のメリット

女性の活躍を推進することのメリットは何ですか。（「その他」の内容）

- ・ 特に意識することがなく今まで来ていて、活躍してほしいが募集をしても女性の応募はないに等しい状態である
- ・ もともと女性が多い職場
- ・ 各自のやりがい
- ・ 仕事内容から結婚・出産・育児の経験は仕事への良い経験になる
- ・ 男女関係なく、従業員が活躍することで、上記（各選択肢）のメリットが全て生まれてくる為、女性が活躍することのメリットだけに焦点をあてていない
- ・ 男女平等に評価しているので、女性活躍のメリットは特にない。両方活躍してほしい
- ・ 女性社員がいないのでわからない
- ・ わからない（3件）
- ・ 保育教諭はほとんど女性のため、質問がそぐわない
- ・ 質問の趣旨が分からない

問38 女性活躍推進の課題

女性の活躍推進にあたっての課題は何ですか。（「その他」の内容）

- ・ 適在適所で自然な形で事務や現場にいます
- ・ 製造業なので、荷物が重いなどの体力的な負担
- ・ 力仕事の現場職に対応できるかどうか
- ・ 今は特に考えつかない
- ・ 製品が大きい
- ・ 女性なし
- ・ 育休等の期間を増したいが、代わりの人材探しや経費負担が難しい
- ・ 夜間、早朝、深夜等ローテーションの勤務は周囲の理解が必要であること
- ・ わからない（ないとは思わないが）
- ・ わからない

10. 男女共同参画の取組について（問39）

問39 男女共同参画社会の実現に向けたまちづくりについて意見・要望

男女共同参画社会の実現に向けたまちづくりについて、ご意見・ご要望などがございましたら、自由にお書きください。（自由記述）

- 一人でも多くの女性が建設業に魅力を持ってもらい、働きやすい職場をつくりたい。若干女性技術者を増やす方法を充実させるためにも、産休、育休への補助も必要と考えます。（建設業・10名以上50名未満）
- すべてにおいて男女平等、ジェンダーも関係ないといった世界的な世論の動きに違和感しか感じられない。人類はどこに向かいたいのか。（教育・福祉業・10名以上50名未満）
- 若い人を入社させた場合、育児や介護休業制度を将来とってもらおうとして、それに対してどれくらいのコストを織り込めばよいのかという資料があればほしいです。（建設業・10名未満）
- 男性、女性同一ではなく、おのおのの個性を大切に業務ができる環境作りの為の法律等、助成金、支援金の援助、企業の取組にも目を向けてほしい。（建設業・10名以上50名未満）
- 社会の健全な在り方についての議論が必須。一極に絞った議論では不十分である。少子化についても理解と議論を深める必要性が大いにある。（教育・福祉業・10名以上50名未満）
- 同じ人間として男女各々の特性を活かし、または超越して活躍できると日本という国はもっと良くなる。（卸・小売業・10名以上50名未満）
- 太田市は、子育てしやすいと感じています。子育てでも仕事もできる太田となるように社内でも取組していきます。（建設業・10名以上50名未満）
- 大いに推進したい。（製造業・50名以上100名未満）
- 男性・女性の差についてあまり考えません。仕事上は実力主義でやっています。（飲食店・宿泊業・10名以上50名未満）
- 現在活躍している、もしくは望んでいる女性は、独身かシングルマザーの方が多いと感じている。共働きの女性は特に望んでいない気がしている。若い世代のうちから活躍のイメージを持ってもらう必要性を感じている。（製造業・10名以上50名未満）
- 共同参画については確かに平等であってほしいと思いますが、重労働ということになると、その差というのは差があります。それはそれで仕方のないことだと思います。（卸・小売業・10名以上50名未満）
- 子育ては女性の仕事と決めつけている世代の方々がいっぱいます。母と父で子どもを育てるのに（シングルペアレントは除く）。現存の会社にはおりませんが、前職、前々職では女性が上司でした。建築系でも、よほどの力仕事でない限り労働基準法の内でも働けます。「女性ならでは」とか「女性目線」など、これこそ自ら差別しています。性の意識ではなく、個性を生かし働ける社会がいいですね。（建設業・10名以上50名未満）
- 男性が手伝うのではなく、分担するのが当然という考え方に社会全体が変わらなければなかなか進まないと思う。（教育・福祉業・10名以上50名未満）
- 政治分野・まちづくりに関わる審議員等の女性割合を増やしていく具体的施策の拡充に取り組みでいただきたい。（教育・福祉業・50名以上100名未満）
- 女性に比べて言ってくれて、昔よりだいぶ働きやすくなったと思います。しかし、女性に育児休業を取らずというのはもちろんですが、女性に取らせるところで、家の仕事をやるのはすべて女性の方という方が多いです。女性が休業している間、男性は仕事して、育児休業が取れないと言うのもいかがなものかと思います。女性ばかりではなく、男性側の整備も必要ではないですか。（製造業・10名以上50名未満）
- 年代による教育差によるものがあり、女性のほうが、「女だから支えるべき」「女だから掃除するべき」などの固定観念がしみついていて人が多い。また、「社保等の扶養から抜けたくないので」という理由でパート希望（20時間以内）が多いです。もっと自分を中心にした働き方ができるようになったらいいなと思います。（製造業・10名以上50名未満）
- 一組織から啓発活動が重要であると感じている。（建設業・10名以上50名未満）
- 活躍を望む女性はどのような社会やまちがつくられたら育つのか（現れるのか）知りたい（特に製造業の事例）。海外で働く方々との意識の差はどこから生まれるのか知りたい。女性活躍のロールモデルについて多くの経営陣が事例や配慮した事を知り、「これなら自分の会社でもできそうだ」と思っていたことが大切。男性も育休・時短取得する事例が増え、職場での業務の運営方法を

- 従来から変化されなければならなくなる為、働き方改革事例など紹介いただくと具体的イメージが管理職の方もしやすくなると思う。(製造業・100名以上)
- ・ 職種によっていろいろ違いがあると思う。当社は商業なので、女性が優位にある。個人的には、業種によっては、遅くまで働らかなければならない場合があると思うので、その場合共同参画は難しいと思う。(卸・小売業・10名以上50名未満)
 - ・ 女性も男性と同じように、あらゆる分野で活躍できる社会になって欲しいと思います。(建設業・50名以上100名未満)
 - ・ 女性の考え方を改革すべき。日本は、指導が基本になっている。それでうまく行くわけがない。自分で考える力を。(情報通信業・10名以上50名未満)
 - ・ 今、色々と課題が上がっていますが、そもそも、男女問わず、「人」として接して行けるよう人々が切り替えていけると良いと願っています。(建設業・10名以上50名未満)
 - ・ 企業として、従業員に対して、男女共同参画に関する徹底教育を行うのは、日常の業務がある中で限りがあるので、日常から環境が変わる必要があると考えます。(卸・小売業・10名以上50名未満)
 - ・ 50人以下・製造業で、女性の現場希望者は無し。事務職のみ。育児、介護等は制度に従う。人権については、何ら差別もなく和気あいあいと仕事をしています。男女雇用均等法により男女差はありません。(製造業・10名以上50名未満)
 - ・ 男性の、女性が働くことへの意識などが変わらなないと、男女共同参画の実現に向けたまちづくりの取組は進まないと思います。(建設業・10名以上50名未満)
 - ・ 女性の活躍のためには、その人自身というよりも、パートナー(夫)側の理解対応が重要。勤務先はもちろん本人自身の意識を含め。(卸・小売業・50名以上100名未満)
 - ・ 会社として人材不足に悩んでいます。今は、とにかく、明るく、清潔な職場づくりをはじめました。建設業は変わらなければいけないと思っています。イメージアップを加速していきたいと思いません。(建設業・10名以上50名未満)
 - ・ 男女共同参画というのは良いことだと思うが、やはり適材適所で人権を含め、体力や環境などを考慮し、お互い助け合い参画するのがよいと思う。「男女共同参画」という言葉自体、セクシャルマイノリティにひっかかって失礼だと思う。今回の調査は矛盾していると思う。(製造業・10名未満)